

平成 22 年度  
卒業・修了予定者による  
フィードバック調査結果

平成 23 年 5 月  
教育室 教育企画グループ

## 目次

1.	総評	1
2.	集計結果（学士課程）	3
3.	集計結果（大学院課程）	9
4.	平成 21 年度との比較（学士課程）	15
5.	平成 21 年度との比較（大学院課程）	25
6.	実施要綱	33
7.	アンケート項目	35

## 平成22年度卒業・修了予定者によるフィードバック調査の総評

副理事（教育改革担当） 古澤 修一

全学的に、昨年度よりアンケートの回収率は向上したが、学部間およびプログラム間、研究科間でも回収率に差がありました。アンケート結果の信頼性を向上させるために、学部での対策が必要と考えます。大学によっては、アンケートに答えないと卒業証書を渡さない手段を用いている所もあります。各回答項目の集計結果は、全学レベルと比較して一つの学部・研究科がどのようなであったかを知ることができます。この結果を受けてすぐに対策を講じて頂きたいというものではありませんが、各学部・研究科でこの結果から問題と感ずる内容を見つけ出すことができましたら、改善に役立てて頂きたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

（学士課程）

1) 全体的に、昨年度と同じく教養教育への満足度と専門教育への満足度は相関していました。ガイダンスなどを有効に活用し、専門教育および教養教育の意義を解説することを再度ご検討して頂きたいと思ひます。

2) 到達度評価の活用法は、教育室でも本年度に取り組みを行いますが、専門を学びに来た専門性の高い学部での満足度が低かったことは、ガイダンス時での説明が充分でなかったことが伺えます。各部局で対策が可能と判断できる部分に対しては、ご配慮をお願いします。

3) チューターの履修指導については、全学で行うチューターFD以外にも、学部の詳細な部分を研修するチューターFDを行うなどして、チューターが効果的に学生指導を行える環境の整備を行って戴きたいと思ひます。

4) 研究室配属では、全学的に概ね満足度が高いのですが、低い学部が見受けられます。こういう場合には、総じて卒業研究への有意義度も低くなっています。研究室、教員の指導力の差もあると思ひますが、そういう差があることを学生に強要することはできません。教員への指導力の強化、あるいは別の観点からになります。研究室配属時の学生へのガイダンスの強化（卒業研究の意義などの解説）がなされることを希望します。

5) パッケージ別科目や、科目の履修制限(選択の幅)の要望など依然として教養教育への不

満の声があります。これは、平成23年度からの新しい教養教育で改善を行います。

6) 1年次からもっと専門教育を受講したいという声も上がっています。該当するとお考えの学部では、カリキュラムの変更など柔軟にご検討戴ければと思います。教養教育は高学年でも受講でき、かつ1年次では専門教育も受講できることが望ましいと考えられます。

(大学院課程)

1) 全体的に、大学院課程教育の内容への満足度、大学院教育で修得した専門性の修了後の進路での役立ち度、指導教員による指導の適切性の満足度は高かったのですが、この3つ共に、満足度が低い研究科があります。この原因がどこにあるのかを把握していただき、改善を行って戴ければと思います。

2) 大学院教育においてプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力が身についたかの問いでは、満足度が高い研究科と低い研究科に分かれました。このことについても、研究科単位で、この原因がどこにあるのかを把握し、改善を行って戴ければと思います。

3) 大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合いでは、文学研究科で低く、特に法務研究科では身に付いたと感じた学生はおりませんでした。これらの結果は、研究科の特性なのか、研究科の判断に委ねたいと考えます。

4) 大学院在学中に行った研究活動に対する満足度では、約80%が研究活動に満足と回答しておりました。

5) 所属研究科の学生支援室の窓口やサービス担当に対する満足度では、全研究科の回答者の15%が所属研究科の学生支援室に不満と回答していますが、研究科によっても異なりました。該当の研究科では、SD等を実施して、改善にご努力下さい。

6) 図書館に対する満足度では、文学研究科と法務研究科の学生が不満であるとの意見がありました。これも、研究科の研究形態の特殊性が考えられますが、海外の大学では、図書館が24時間オープンになっていることが多いことから、図書館の開館時間の延長など、学生の需要に応える検討が必要だと考えます。

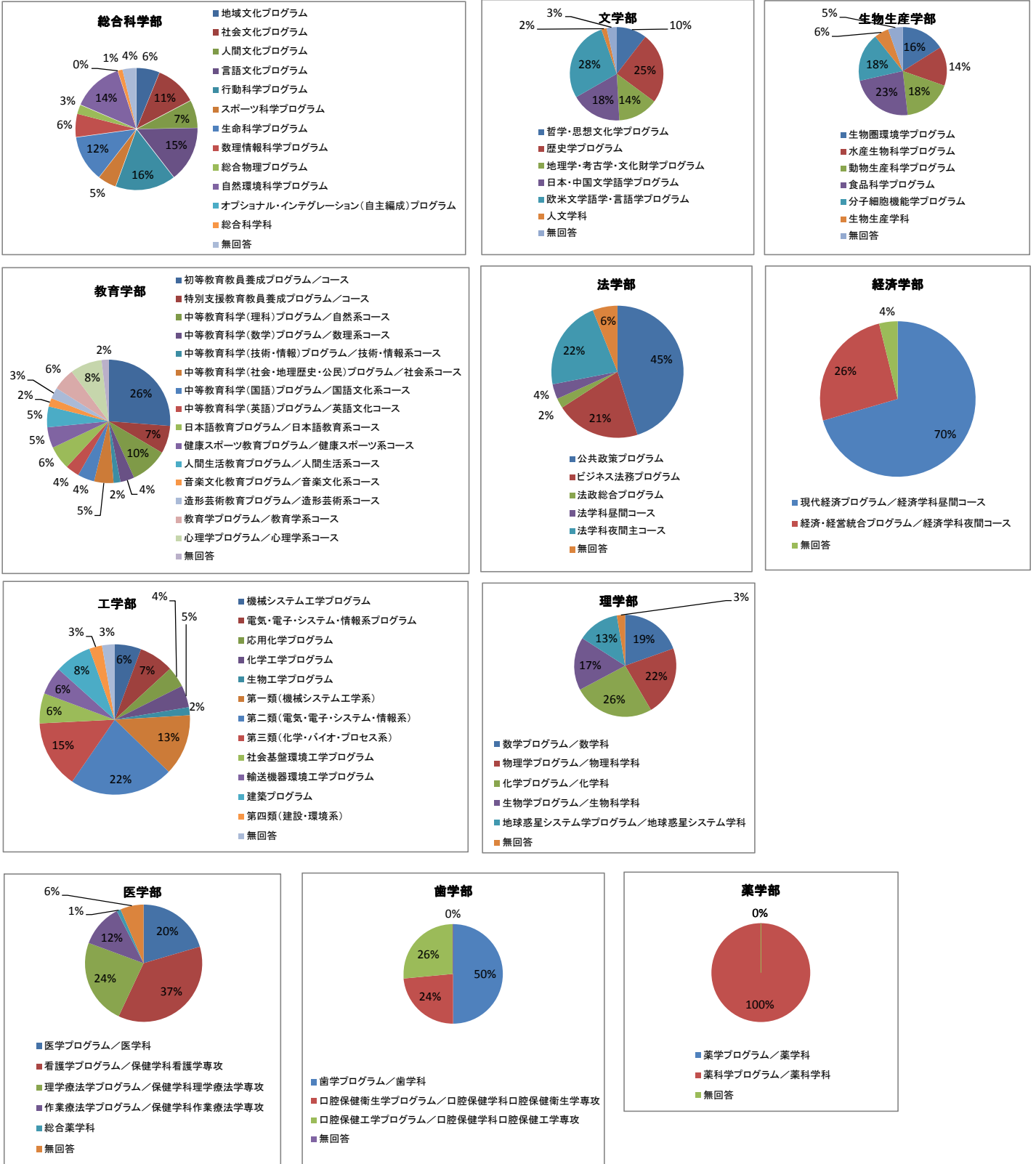
# 1. 集計結果(学士課程)

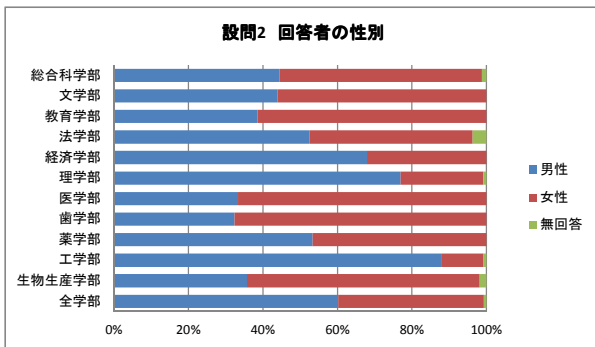
学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	146	81	55.5
文学部	155	57	36.8
教育学部	560	275	49.1
法学部	222	82	36.9
経済学部	255	78	30.6
理学部	257	113	44.0
医学部	262	93	35.5
歯学部	103	34	33.0
薬学部	23	15	65.2
工学部	566	403	71.2
生物生産学部	110	56	50.9
全学部合計	2,659	1,287	48.4

- ・全学部生の約半数が回答。
- ・回答率が高いのは工学部。
- ・回答率が低いのは経済学部、歯学部、医学部。

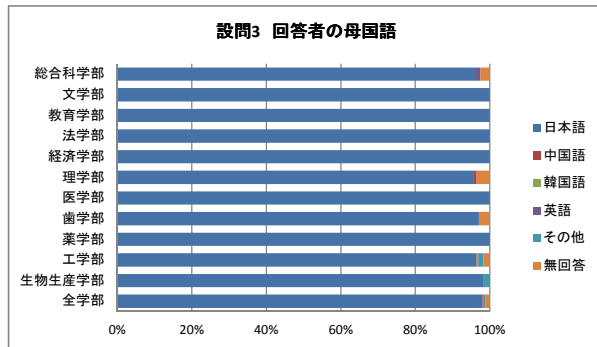
## 【回答者に関して】

### 設問1 回答者の所属プログラム等

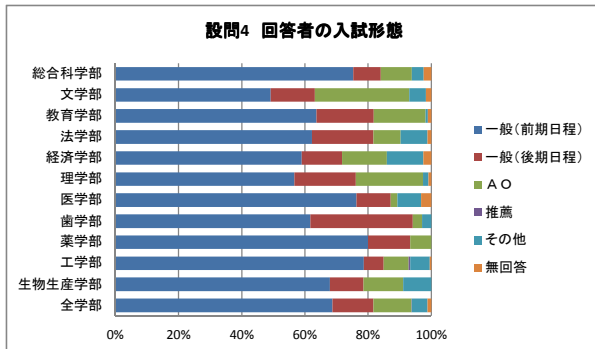




- ・全学部の回答者のうち男性は約60%、女性は約40%。
- ・男性が多いのは工学部、理学部、経済学部。
- ・女性が多いのは歯学部、医学部、生物生産学部、教育学部。

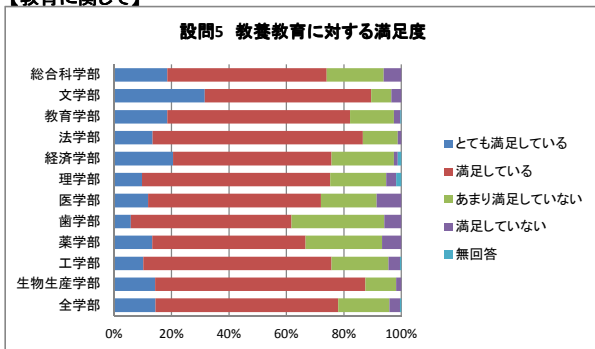


- ・全学部の回答者の99%の母国語は日本語。

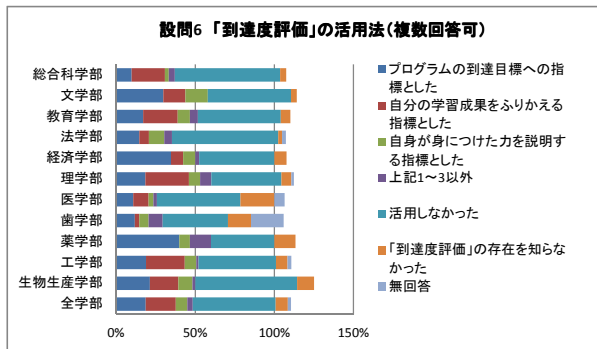


- ・一般(前期日程)が多いのは薬学部、工学部、医学部、総合科学部。
- ・一般(後期日程)が多いのは歯学部。
- ・AOが多いのは、文学部と理学部。

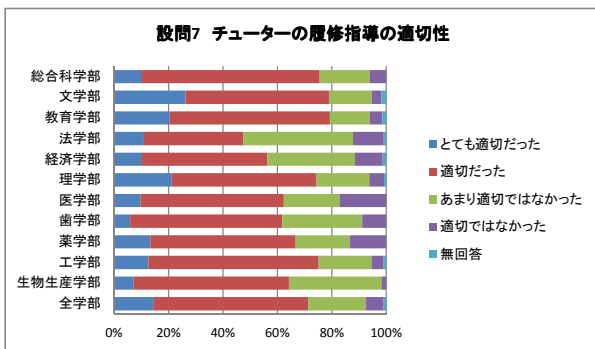
## 【教育に関して】



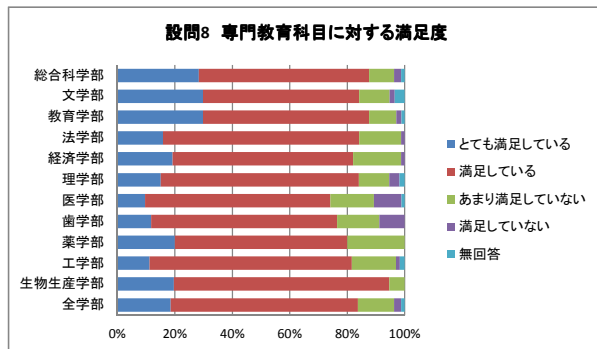
- ・全学部の回答者の約80%が教養教育の内容に満足と回答。
- ・教養教育への満足度が高いのは文学部、法学部、生物生産学部。
- ・教養教育への満足度が低いのは歯学部、薬学部、医学部。
- ・入試区別では、AO、前期、後期の順に満足度が高い。



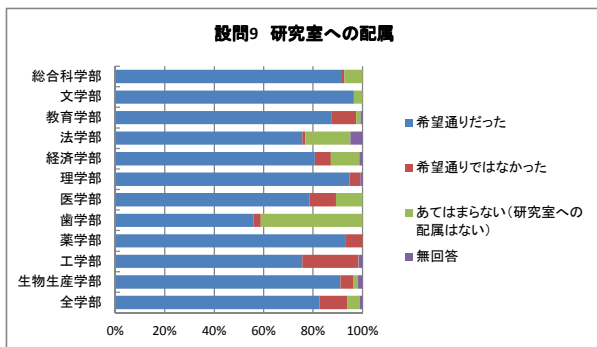
- ・全学部の回答者の約半数が到達度評価を活用していない。
- ・到達度評価の活用度が高いのは理学部、薬学部、文学部。
- ・到達度評価の活用度が低いのは医学部、歯学部、総合科学部、法学部。



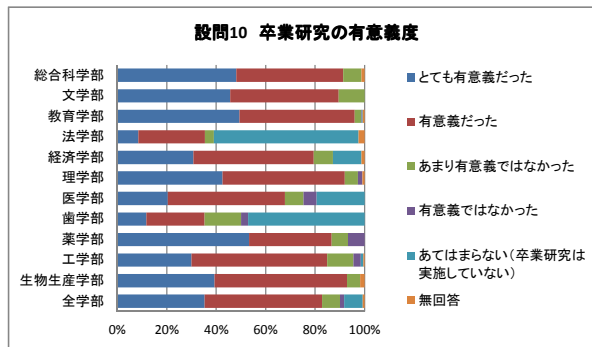
- ・全学部の回答者の約70%がチューターの履修指導を適切と回答。
- ・履修指導が適切との回答が多いのは文学部、教育学部、総合科学部。
- ・履修指導が適切でないとの回答が多いのは法学部、経済学部、医学部。
- ・入試区別では、AO、前期、後期の順にチューターの履修指導が適切との回答が多い。



- ・全学部の回答者の約80%が専門教育の内容に満足。
- ・専門教育への満足度が高いのは生物生産学部、総合科学部、教育学部。
- ・専門教育への満足度が低いのは医学部、歯学部。
- ・入試区別では、AO、前期、後期の順に満足度が高い。



- ・全学部の回答者の約80%が研究室への配属が希望通りだったと回答。
- ・研究室への配属が希望通りだったとの回答が多いのは文学部, 理学部。
- ・研究室への配属が希望通りでなかったとの回答が多いのは工学部。
- ・入試区別ではAO, 後期, 前期の順に希望通りであったとの回答が多い。

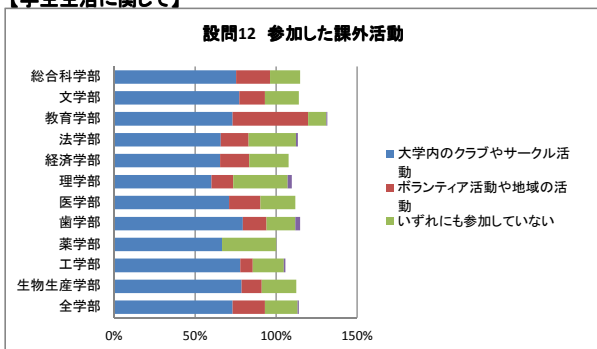


- ・全学部の回答者の約80%が卒業研究を有意義と回答。
- ・卒業研究が有意義だったとの回答が多いのは教育学部, 総合科学部, 生物生産学部。
- ・卒業研究が有意義でなかったとの回答が多いのは歯学部, 医学部。
- ・入試区別ではAO, 前期, 後期の順に卒業研究が有意義であったとの回答が多い。

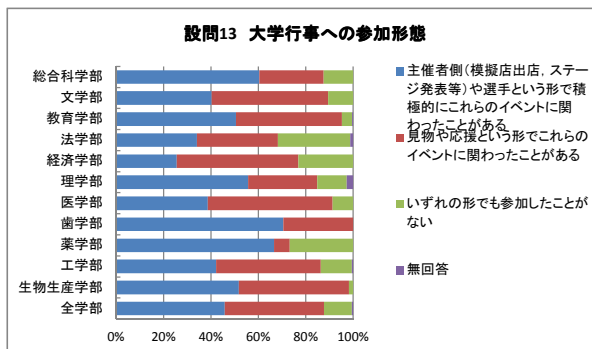
### 設問11 広島大学で受けた教育(ガイダンス, 学習相談, 学習環境等)に関する改善点

- ・パッケージ科目は不要(7)
- ・1年次から専門教育養育をすべき(5)
- ・チューター制度は利用しにくい(4)
- ・到達度評価の説明が必要(3)
- ・教養教育の授業の選択の幅がもっと広い方がいい(2)
- ・研究室配属の時期を早めてほしい(2)

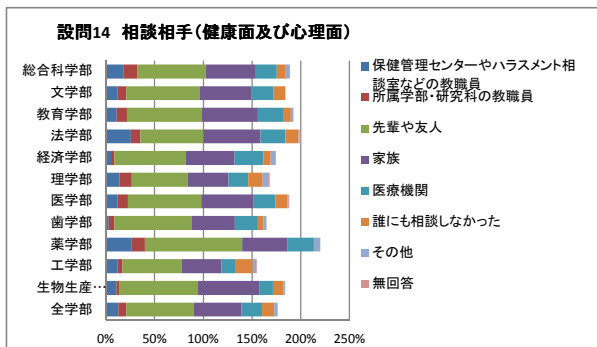
### 【学生生活に関して】



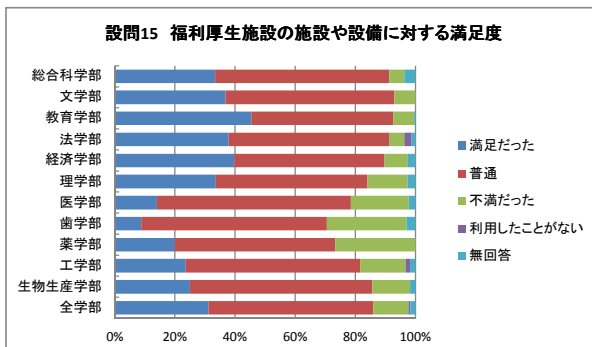
- ・全学部の回答者の約80%が課外活動に参加。
- ・課外活動への参加率が高いのは教育学部。
- ・課外活動への参加率が低いのは理学部。



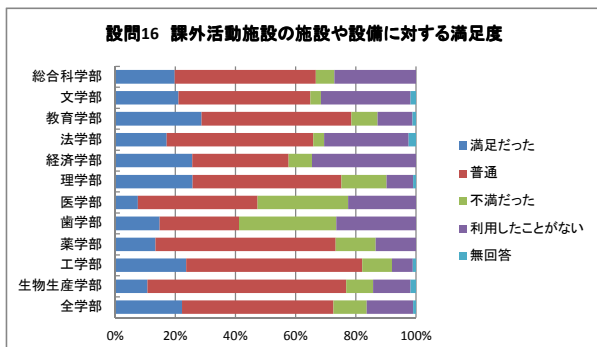
- ・全学部の回答者の約90%が大学行事に参加。
- ・大学行事への参加率が高いのは歯学部, 生物生産学部, 教育学部。
- ・大学行事への参加率が低いのは法学部。



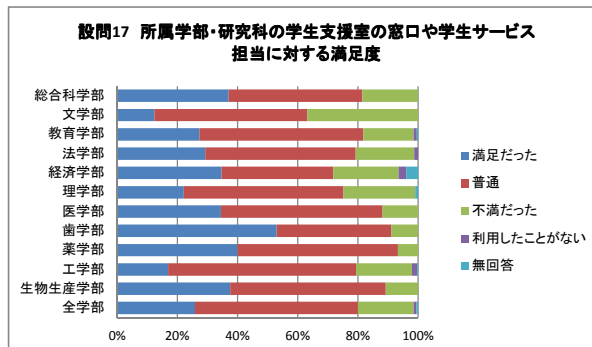
- ・全学部の回答者の約15%が誰にも相談しなかったと回答。
- ・相談率が高いのは薬学部, 歯学部, 教育学部。
- ・相談率が低いのは工学部, 理学部。



- ・全学部の回答者の約30%が福利厚生施設に満足, 約10%が不満と回答。
- ・満足度が高いのは教育学部, 経済学部, 法学部, 文学部, 総合科学部。
- ・不満と回答したものが多くは薬学部, 歯学部, 医学部。

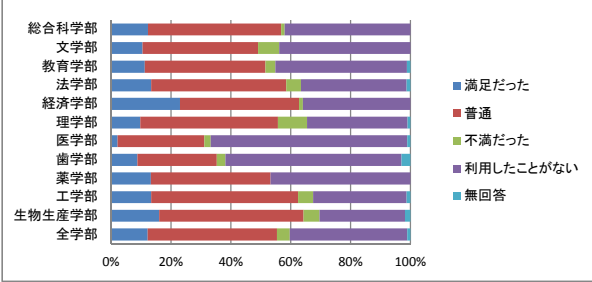


- ・全学部の回答者の約20%が課外活動施設に満足, 約10%が不満と回答。
- ・全学部生の約15%が課外活動施設を利用したことがないと回答。
- ・満足度が高いのは法学部, 文学部, 総合科学部。
- ・不満と回答したものが多くは歯学部, 医学部。



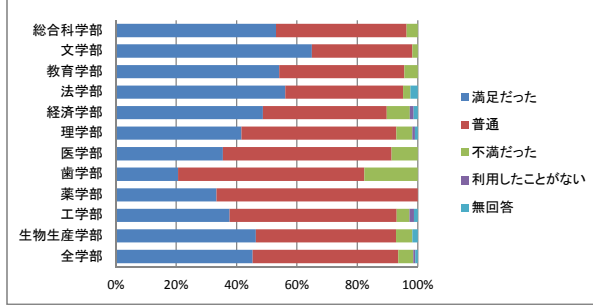
- ・全学部の回答者の約25%が所属学部の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足と回答。
- ・満足度が高いのは歯学部, 薬学部, 生物生産学部。
- ・不満と回答したものが多くは文学部, 経済学部, 理学部。

**設問18 学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の窓口や学生サービス担当に対する満足度**



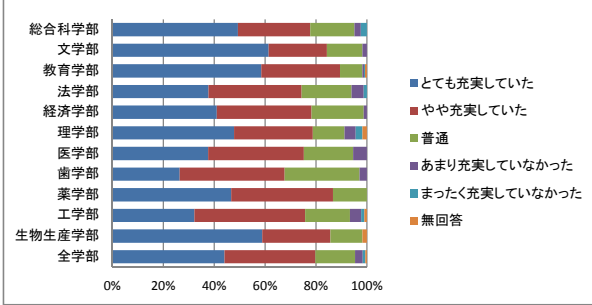
- ・全学部の回答者の約10%が学生プラザの学生支援に満足, 約5%が不満と回答。
- ・回答者の約40%が学生プラザの学生支援を利用したことがないと回答。
- ・満足度が高いのは経済学部。
- ・不満と回答したものが多いいのは理学部, 文学部。

**設問19 図書館に対する満足度**



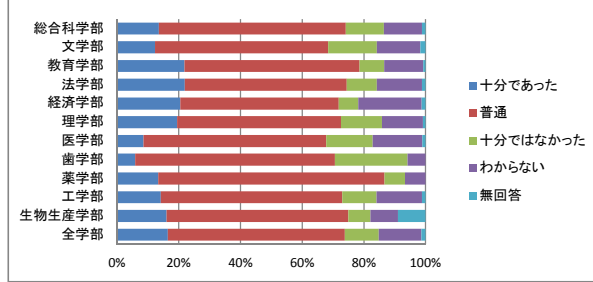
- ・全学部の回答者の約45%が図書館に満足, 約5%が不満と回答。
- ・満足度が高いのは文学部, 法学部。
- ・不満と回答したものが多いいのは歯学部。

**設問20 授業以外の学生生活の充実度**



- ・全学部の回答者の約80%が授業以外の学生生活を充実と回答。
- ・充実度が高いのは教育学部, 薬学部, 生物生産学部。
- ・充実度が低いのは理学部, 法学部, 工学部。

**設問21 授業以外の学生生活に関する大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて**



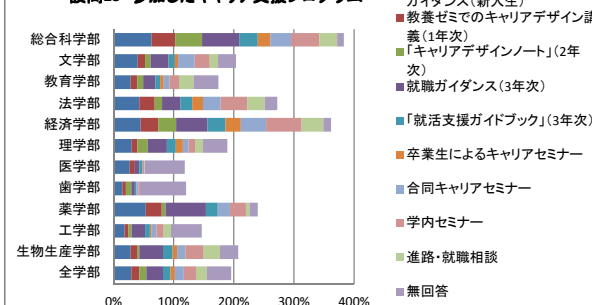
- ・全学部の回答者の約75%が授業以外の学生生活へのサポートが十分または普通と回答。
- ・十分だと回答したものが多いいのは教育学部, 法学部, 経済学部, 理学部。
- ・不十分だと回答したものが多いいのは歯学部, 医学部。

**設問22 学生生活を振り返って、学生活動支援や施設等に対する意見や希望**

- ・トイレの増設・改修(6)
- ・駐車場の増設(4)
- ・駐輪場の増設(5)
- ・食堂の改善・改修(11)
- ・体育館の改善・改修(12)
- ・テニスコートの改善・改修(5)
- ・学生支援室職員の対応への不満(23)
- ・学生支援室職員の感謝(3)
- ・卒業要件単位の確認について(5)
- ・図書館の文献の充実(5)
- ・図書館の施設への要望(13)
- ・図書館の開館時間の延長(5)
- ・図書館への感謝(3)

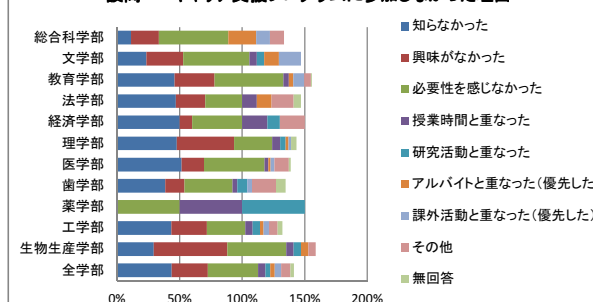
**【進路・職業選択及び就職活動に関して】**

**設問23 参加したキャリア支援プログラム**



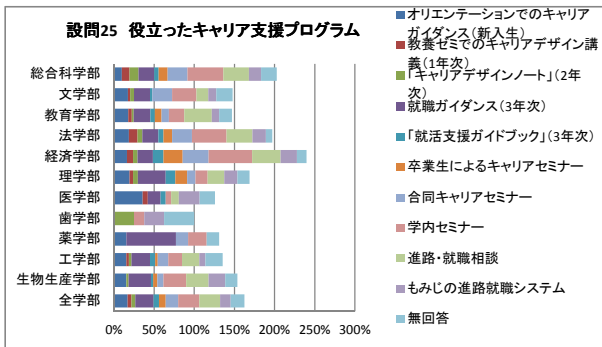
- ・参加者の約30%がオリエンテーションでのキャリアガイダンス(新入生)に参加。
- ・参加者の約30%が就職ガイダンス(3年次)に参加。
- ・参加者の約20%が学内セミナーに参加。
- ・参加者の約20%が進路・就職相談に参加。

**設問24 キャリア支援プログラムに参加しなかった理由**

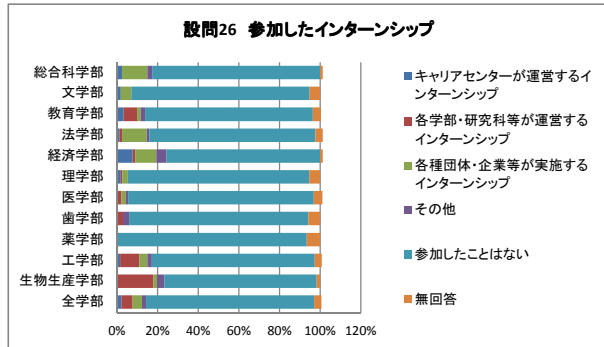


- ・不参加者の約45%がキャリア支援プログラムを知らなかったと回答。
- ・不参加者の約40%がキャリア支援プログラムへの参加は不必要と回答。
- ・不参加者の約30%がキャリア支援プログラムへ興味がなかったと回答。

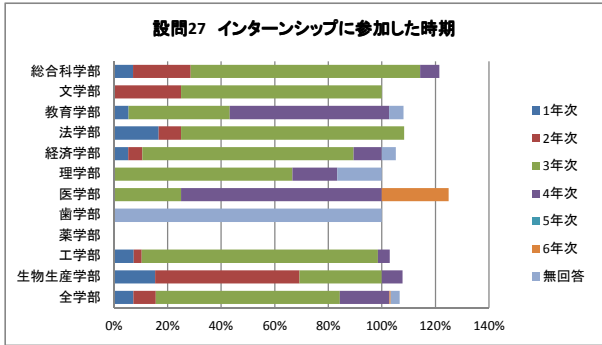




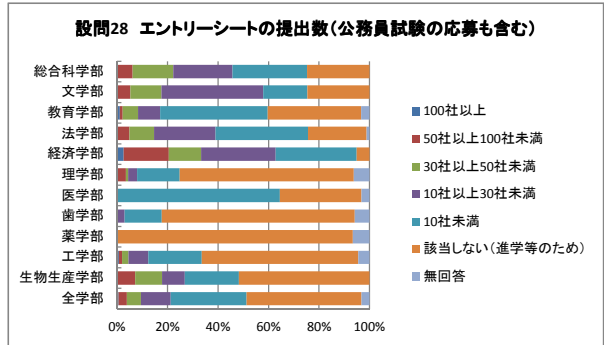
- 参加者の約25%が学内セミナーが役立つと回答。
- 参加者の約25%が進路・就職相談が役立つと回答。
- 参加者の約23%が就職ガイダンス(3年次)が役立つと回答。



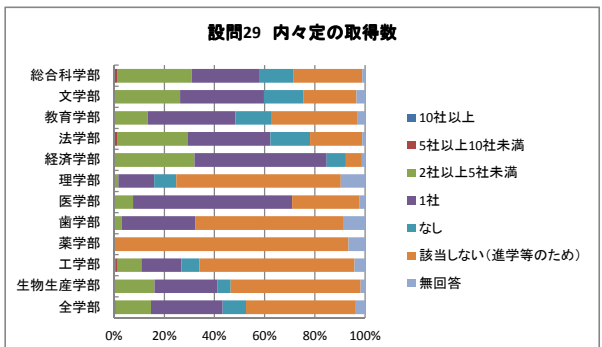
- 全学部の回答者の約15%がインターンシップに参加。
- 参加者のうち約40%が各学部・研究科等が運営するインターンシップに参加。
- 参加者のうち約30%が各種団体・企業等が運営するインターンシップに参加。



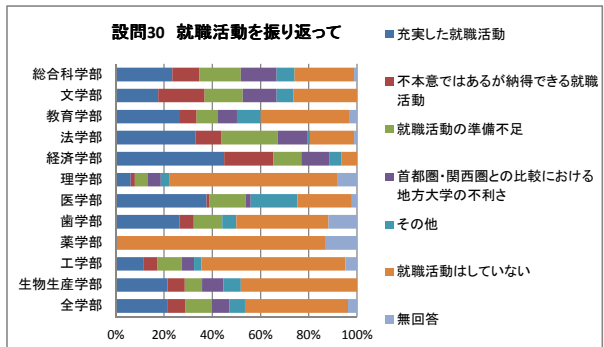
- 学部生のインターンシップ参加者の約70%の学部生が3年次に参加。
- 学部生のインターンシップ参加者の約20%の学部生が4年次に参加。



- 就職活動した学部生の約60%がエントリーシートの提出数は10社未満と回答。
- 就職活動した学部生の約25%がエントリーシートの提出数は10社以上30社未満と回答。
- 約45%が該当しない(進学等のため)と回答。



- 就職活動した学部生の約55%が内々定は1社と回答。
- 就職活動した学部生の約25%が内々定は2社以上5社未満と回答。
- 就職活動した学部生の約20%が内々定はなしと回答。
- 約45%が該当しない(進学等のため)と回答。



- 就職活動した学部生の約40%が充実した就職活動だったと回答。
- 就職活動した学部生の約20%が準備不足だったと回答。
- 就職活動した学部生の約15%が首都圏・関西圏との比較における不利さを挙げる。
- 約45%が就職活動をしていないと回答。

### 設問31 進路・就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等について

- 学内セミナー(4)
- 就職ガイダンス(1)
- キャリアセンターの就職相談体制の充実(13)
- キャリアセンターの広報活動の充実(5)
- 教育学部の就職支援室への感謝(3)
- 教員採用試験への対応(5)
- 就職活動支援への感謝(9)
- 実践的プログラム(2)
- エントリーシートの添削指導(2)
- 早期対策(4)
- 首都圏・関西圏での就職活動支援(5)



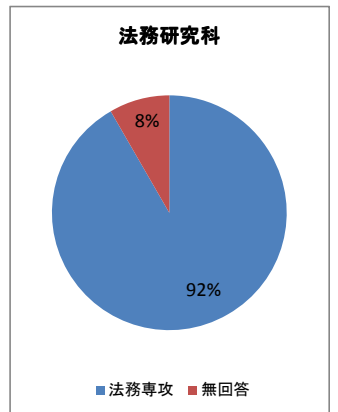
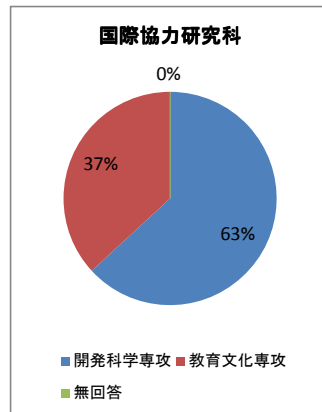
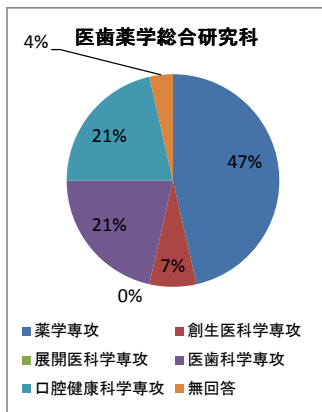
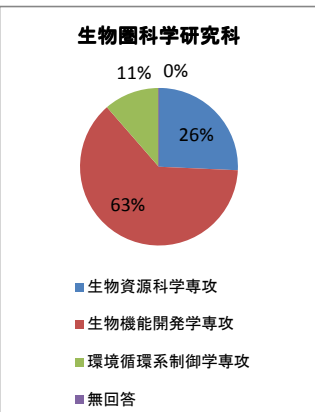
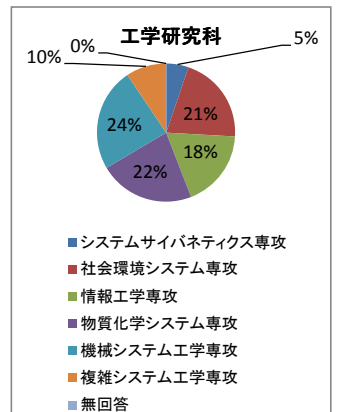
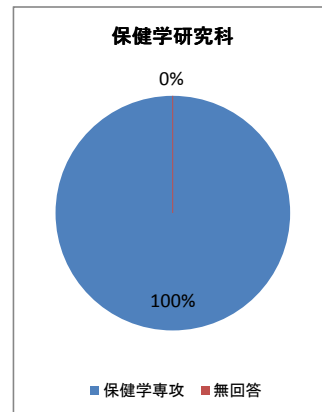
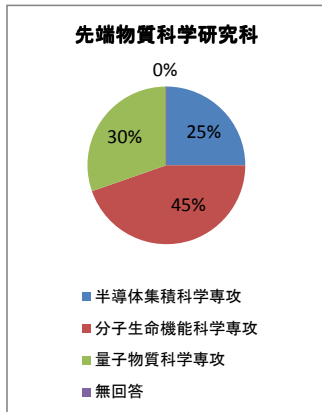
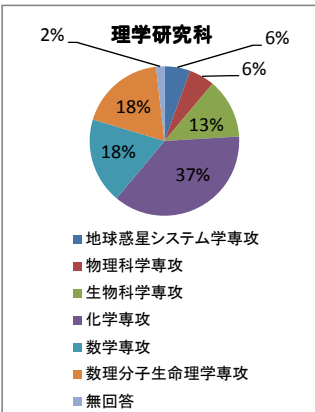
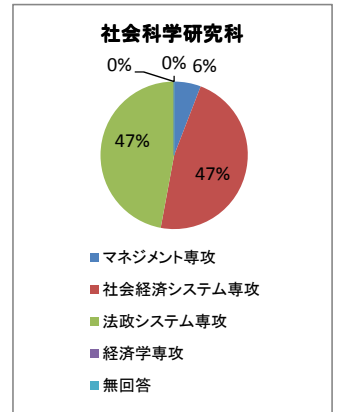
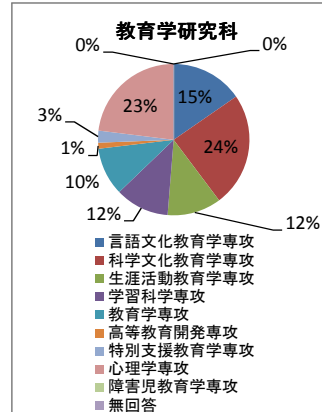
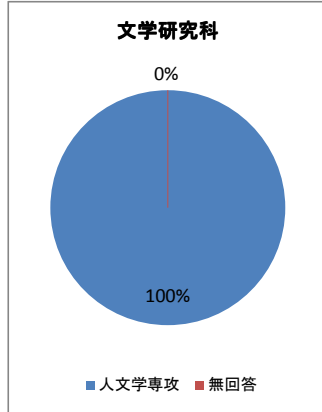
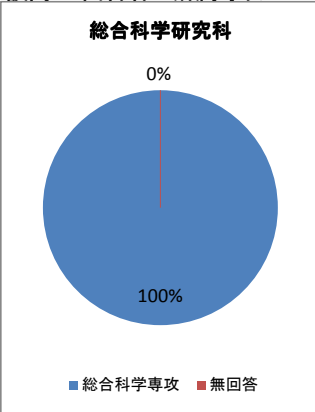
## 2. 集計結果(大学院課程)

研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	51	24	47.1
文学研究科	68	28	41.2
教育学研究科	186	78	41.9
社会科学研究科	71	17	23.9
理学研究科	150	54	36.0
先端物質科学研究科	95	56	58.9
医歯薬学総合研究科	89	28	31.5
保健学研究科	39	13	33.3
工学研究科	316	170	53.8
生物圏科学研究科	79	35	44.3
国際協力研究科	51	19	37.3
法務研究科	54	12	22.2
全研究科合計	1,249	534	42.8

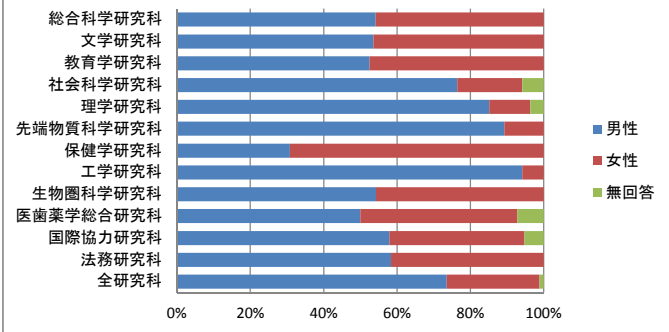
- ・全研究科院生の約43%が回答。
- ・回答率が高いのは先端物質科学研究科, 工学研究科。
- ・回答率が低いのは経済学部, 法務研究科, 社会科学研究科。

### 【回答者に関して】

#### 設問1 回答者の所属専攻

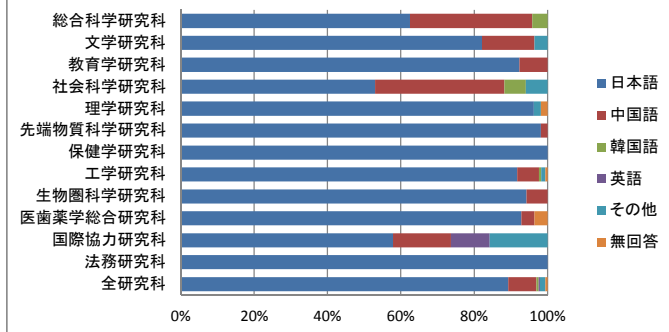


設問2 回答者の性別



- ・回答者のうち男性は約75%, 女性は約25%。
- ・男性回答者の割合が高いのは工学研究科, 先端物質科学研究科。
- ・女性回答者の割合が高いのは保健学研究科。

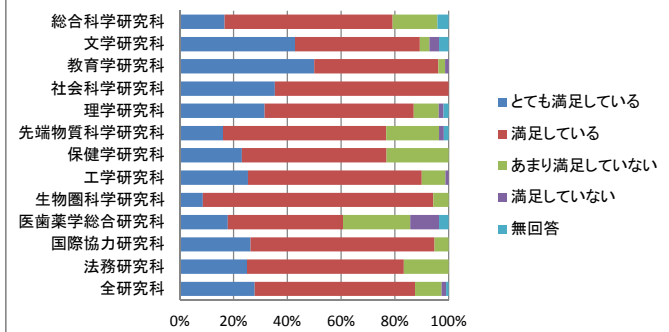
設問3 回答者の母国語



- ・日本語以外を母語とする回答者の割合が高いのは総合科学研究科, 社会科学研究科, 国際協力研究科。
- ・中国語を母語とする回答者の割合が高いのは総合科学研究科, 社会科学研究科。

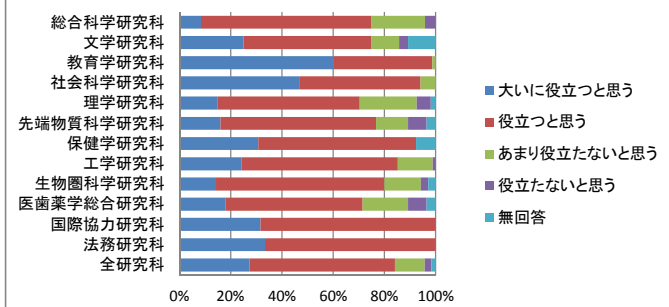
【教育に関して】

設問4 大学院教育の内容に対する満足度



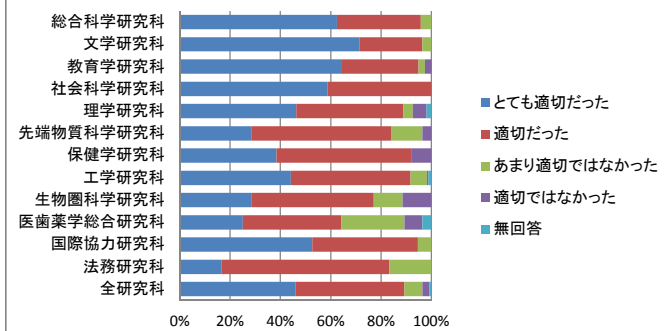
- ・回答者の約90%が大学院教育の内容に満足, 約10%が不満と回答。
- ・大学院教育への満足度が高いのは社会科学研究科。
- ・大学院教育への満足度が低いのは医歯薬学総合研究科。

設問5 大学院教育で修得した専門性の修了後の進路での役立ち度



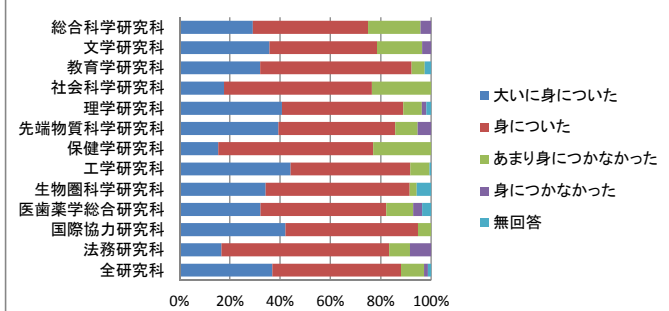
- ・回答者の85%が大学院教育で修得した専門性が修了後の進路で役立つと思うと回答。
- ・専門性が修了後の進路で役立つと思う割合が高いのは国際協力研究科, 法務研究科, 教育学研究科。
- ・専門性が修了後の進路で役立つと思う割合が低いのは総合科学研究科, 理学研究科, 医歯薬学総合研究科。

設問6 指導教員による指導の適切性



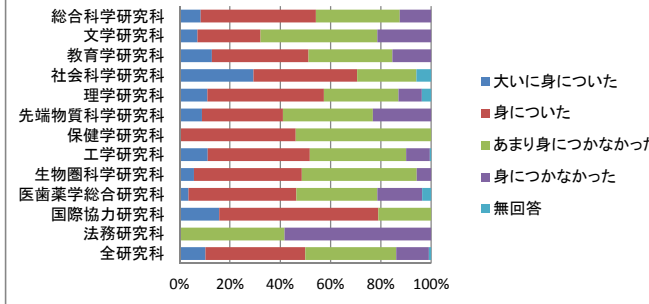
- ・回答者の90%が指導教員による指導は適切だったと回答。
- ・指導教員の指導を適切だったと回答した割合が高いのは社会科学研究科。
- ・指導教員の指導を適切だったと回答した割合が低いのは医歯薬学総合研究科。

設問7 大学院教育におけるプレゼンテーション能力, コミュニケーション能力の修得度合い



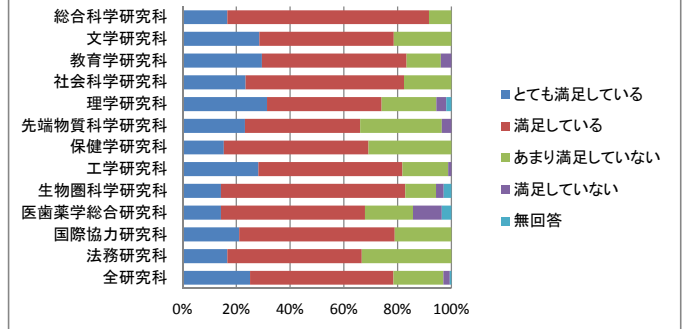
- ・回答者の約90%が大学院教育においてプレゼンテーション能力, コミュニケーション能力が身についたと回答。
- ・能力の修得度合いが高いのは国際協力研究科, 教育学研究科。
- ・能力の修得度合いが低いのは総合科学研究科, 社会科学研究科, 保健学研究科。

設問8 大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合い



- ・回答者の50%が大学院教育において英語力(留学生は日本語力)が身についたと回答。
- ・英語力(又は日本語力)の修得度合いが高いのは国際協力研究科, 社会科学研究科。
- ・英語力(又は日本語力)の修得度合いが低いのは法務研究科, 文学研究科。

設問9 大学院在学中に行った研究活動に対する満足度



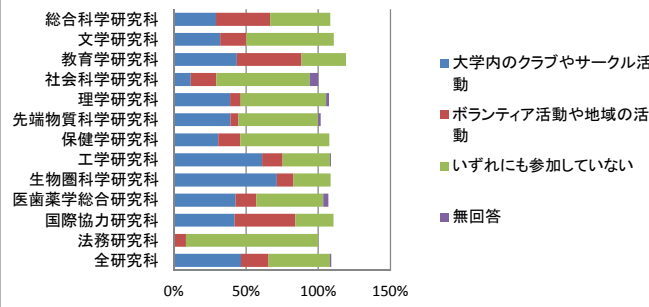
- ・回答者の約80%が大学院在学中に行った研究活動に満足と回答。
- ・研究活動の満足度が高いのは総合科学研究科。
- ・研究活動の満足度が低いのは法務研究科, 先端物質科学研究科。

設問10 広島大学で受けた「大学院教育」(ガイダンス, 教育課程, 学習相談, 学習環境等)について改善すべき点

- ・教育に対する不満(4)
- ・カリキュラムに対する不満(12)
- ・シラバスに対する不満(1)
- ・授業に対する不満(15)
- ・就職活動に対する不満(4)
- ・教員・指導教員・研究指導に対する不満(11)
- ・履修指導に対する不満(1)
- ・英語教育の改善・強化(7)
- ・学習環境に対する不満(3)
- ・経済支援制度に対する不満(1)
- ・情報提供に対する不満(4)
- ・学生交流をもっと盛んに(1)
- ・学生に対する不満(3)
- ・満足している(5)

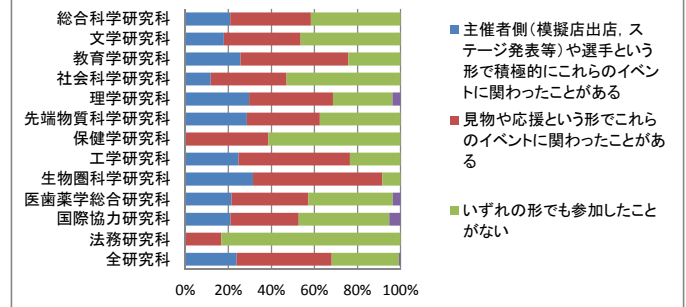
【学生生活に関して】

設問11 参加した課外活動(複数回答可)



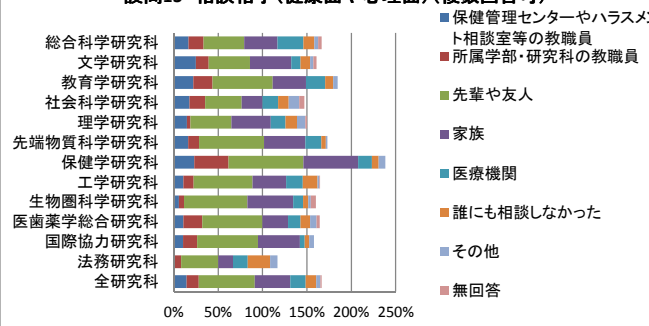
- ・回答者の約60%が課外活動へ参加。
- ・課外活動への参加率が高いのは生物圏科学研究科, 国際協力研究科。
- ・課外活動への参加率が低いのは法務研究科。

設問12 大学行事への参加形態



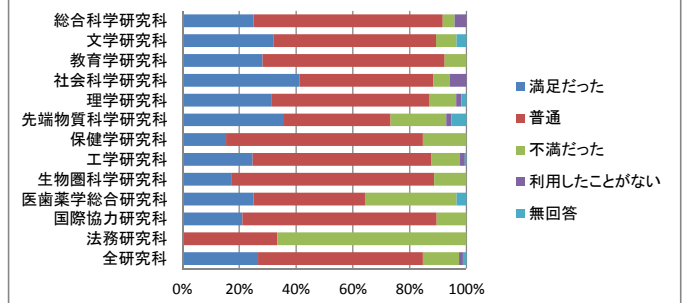
- ・回答者の約70%が大学行事へ参加。
- ・大学行事への参加率が高いのは生物圏科学研究科。
- ・大学行事への参加率が低いのは法務研究科。

設問13 相談相手(健康面や心理面)(複数回答可)



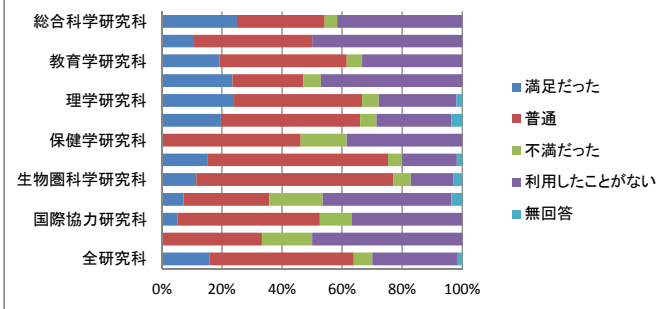
- ・回答者の約10%が誰にも相談しなかったと回答。
- ・非相談率が高いのは法務研究科。
- ・非相談率が低いのは国際協力研究科, 生物圏科学研究科。

設問14 福利厚生施設の施設や設備に対する満足度



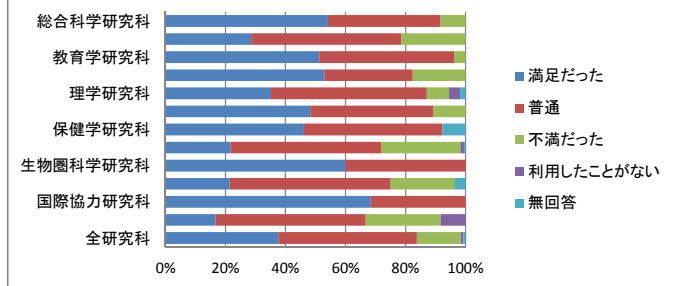
- ・回答者の約10%が福利厚生施設に不満と回答。
- ・不満と回答した割合が高いのは法務研究科。
- ・満足と回答した割合が高いのは社会科学研究科。

**設問15 課外活動施設の施設や設備に対する満足度**



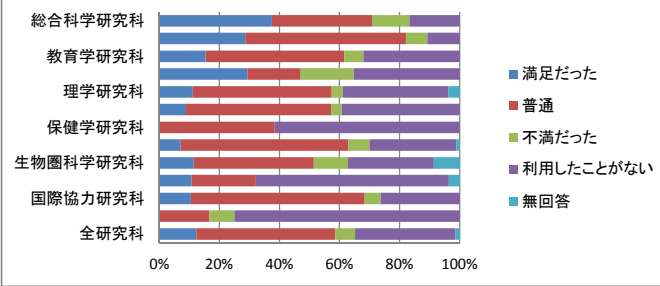
- ・回答者の約70%が課外活動施設を利用。
- ・課外活動施設を利用した回答者の10%が不満と回答。
- ・課外活動施設の満足度が高いのは総合科学研究科, 教育学研究科。
- ・不満と回答したものが多いのは医歯薬学総合研究科, 法務研究科。
- ・利用したことがないと回答したものが多いのは法務研究科, 文学研究科, 社会科学研究科。

**設問16 所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足度**



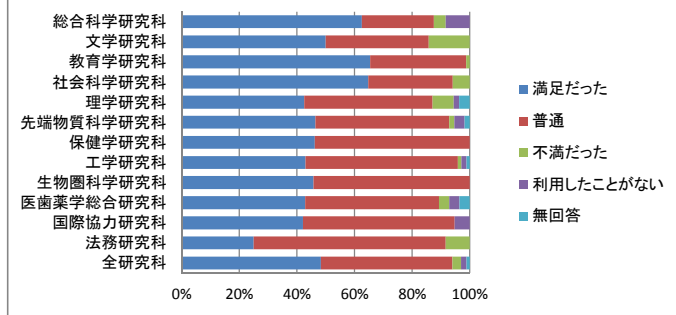
- ・回答者の15%が所属研究科の学生支援室に不満と回答。
- ・不満と回答した割合が高いのは工学研究科, 法務研究科。
- ・満足と回答した割合が高いのは国際協力研究科。

**設問17 学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の窓口や学生サービス担当に対する満足度**



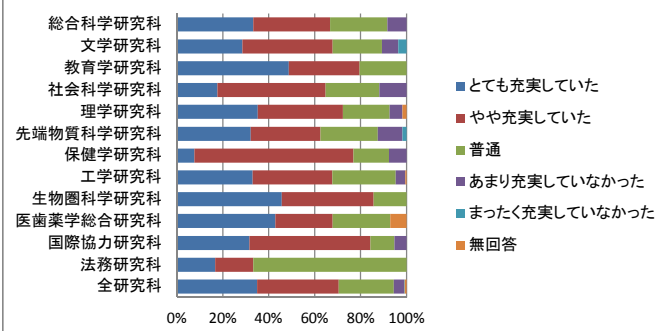
- ・回答者のうち、学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の利用率は65%。
- ・学生支援部門を利用した回答者の約20%が満足と回答。
- ・学生支援部門の満足度が高いのは総合科学研究科, 社会科学研究科。
- ・学生支援部門の不満度が高いのは法務研究科, 社会科学研究科。
- ・学生支援部門の利用率が低いのは法務研究科, 保健学研究科, 医歯薬学総合研究科。

**設問18 図書館に対する満足度**



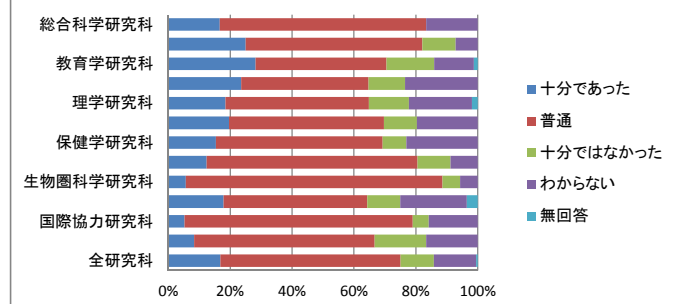
- ・回答者の約50%が図書館に満足と回答。
- ・図書館の満足度が高いのは教育学研究科, 社会科学研究科, 総合科学研究科。
- ・図書館の不満度が高いのは文学研究科, 法務研究科。

**設問19 授業以外の学生生活の充実度**



- ・回答者の70%が授業以外の学生生活に充実と回答。
- ・学生生活の充実度が高いのは生物圏科学研究科, 国際協力研究科。
- ・学生生活の充実度が低いのは先端物質科学研究科, 社会科学研究科。

**設問20 授業以外の学生生活に関する大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて**



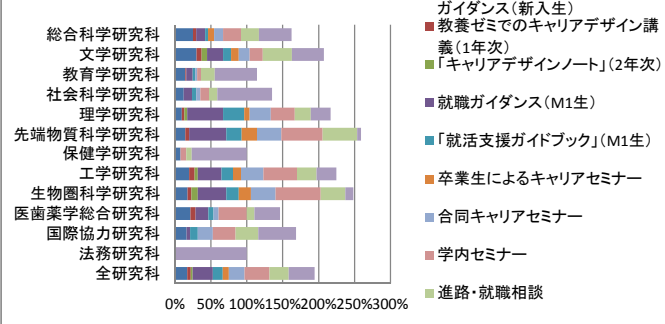
- ・回答者の10%が大学側のサポート体制やサービス内容・メニューが不十分と回答。
- ・大学側のサポートやサービスに不満度が高いのは法務研究科, 教育学研究科。
- ・大学側のサポートやサービスに満足度が高いのは教育学研究科, 社会科学研究科。

**設問21 学生生活を振り返って、学生活動支援や施設等に対する意見や希望**

- ・福利厚生施設に対する不満(9)
- ・課外活動施設に対する不満(4)
- ・所属研究科の事務職員に対する不満(16)(態度が悪い(13), たらい回し(2), 融通が利かない(1))
- ・学生プラザ3階の事務職員に対する不満(1)(たらいまわし(1))
- ・学習環境に対する不満(2)
- ・駐車場・駐輪場に対する不満(4)
- ・その他の施設に対する不満(7)
- ・情報提供に対する不満(3)
- ・立地環境に対する不満(2)
- ・留学生交流をもっと盛んに(2)
- ・就職活動支援の充実を(2)
- ・アンケートに対する不満(1)
- ・満足している(8)

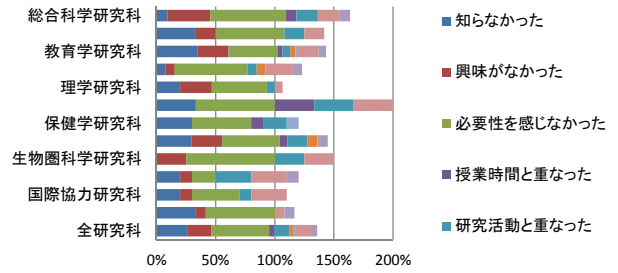
【進路・職業選択及び就職活動に関して】

設問22 参加したキャリア支援プログラム(複数回答可)



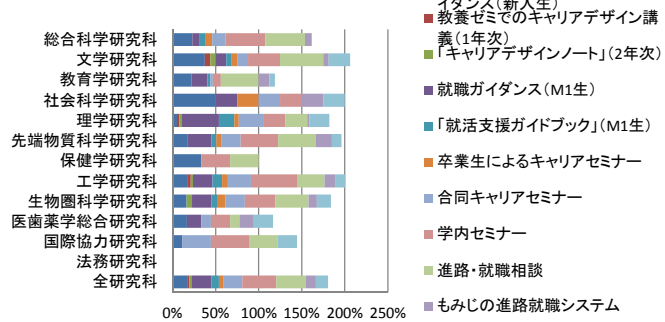
- ・回答者の約65%がキャリア支援プログラムへ参加。
- ・参加率が高いのは先端物質科学研究科, 生物圏科学研究科。
- ・参加率が低いのは法務研究科, 社会科学研究科, 保健学研究科。

設問23 キャリア支援プログラムに参加しなかった理由(複数回答可)



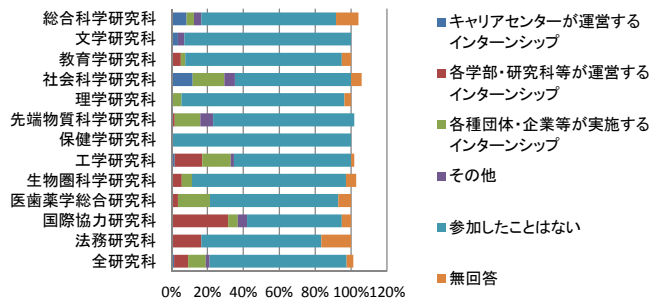
- ・参加しなかった理由として, 知らなかったと回答した学生は約25%。
- ・授業時間と重なったと回答した割合が多いのは先端物質科学研究科。
- ・研究活動と重なったと回答した割合が多いのは先端物質科学研究科, 生物圏科学研究科, 医歯薬学総合研究科。

設問24 役立ったキャリア支援プログラム(複数回答可)



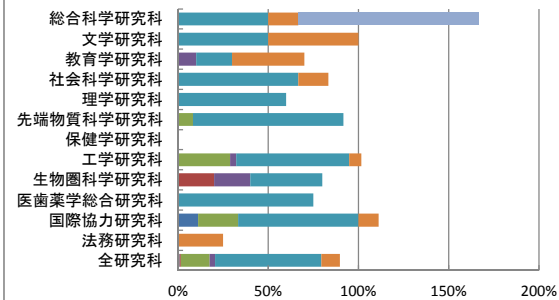
- ・キャリア支援プログラムのうち, 役立ったと回答した学生の割合が高いのは学内セミナー, 進路・就職相談。

設問25 参加したインターシップ(複数回答可)



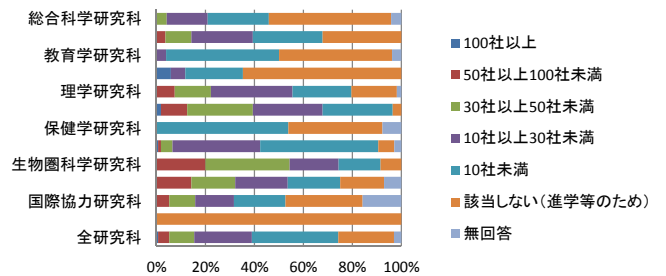
- ・回答者の約20%がインターシップへ参加。
- ・インターシップへの参加率が高いのは国際協力研究科, 工学研究科。

設問26 インターシップに参加した時期(複数回答可)



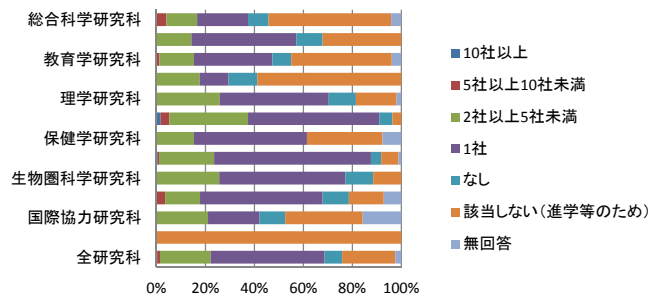
- ・インターシップへの参加時期として多いのはM1年次。
- ・M2年次に参加した割合が多いのは文学研究科, 教育学研究科。

設問27 エントリーシートの提出数(公務員試験の応募も含む)



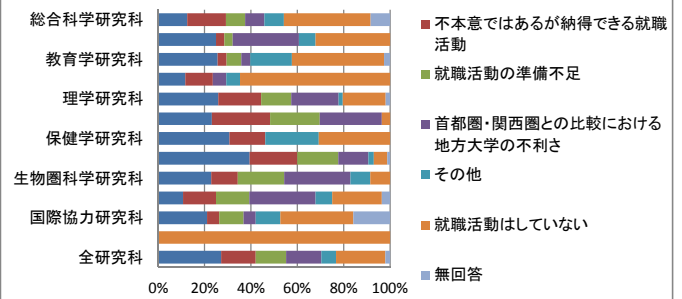
- ・就職活動をした回答者の約50%がエントリーシートの提出数は10社未満と回答。
- ・約20%が該当しない(進学等のため)と回答。

設問28 内々定の取得数



- ・就職活動をした回答者の約90%が1社以上の内々定を取得。
- ・内々定の取得率が高いのは保健学研究科, 先端物質科学研究科, 工学研究科。
- ・内々定の取得率が低いのは社会科学研究科。

設問29 就職活動を振り返って



- ・就職活動をした回答者の約35%が就職活動に不満。
- ・就職活動に納得している割合が高いのは社会科学研究科, 保健学研究科, 工学研究科。
- ・就職活動に納得している割合が低いのは医歯薬学総合研究科, 生物圏科学研究科。

**設問30 進路・就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等に関する意見**

- ・エントリーシートの書き方指導(3)
- ・就職活動に対する対応やマナー講座(1)
- ・面接・集団討論指導(2)
- ・情報提供に対する不満(7)
- ・震地区への支援(5)
- ・センターの利用時間や人員(3)
- ・早期支援を(2)
- ・効率の良い就職活動支援を(1)
- ・都市部での就職活動への支援(6)
- ・もっと厳しく(2)
- ・満足している(9)(ガイダンス(1), 進路・就職相談(4), 集団面接(1), 支援(1), セミナー(2))
- ・就職活動をしていない・未利用(2)



### 3. 平成21年度との比較(学士課程)

#### 【回答率に関して】

平成21年度

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	160	27	16.9
文学部	180	61	33.9
教育学部	566	158	27.9
法学部	214	46	21.5
経済学部	257	46	17.9
理学部	266	74	27.8
医学部	235	31	13.2
歯学部	92	11	12.0
薬学部	25	9	36.0
工学部	582	158	27.1
生物生産学部	119	24	20.2
全学部合計	2,696	645	23.9

・全学部について、回答率が2倍に増加。

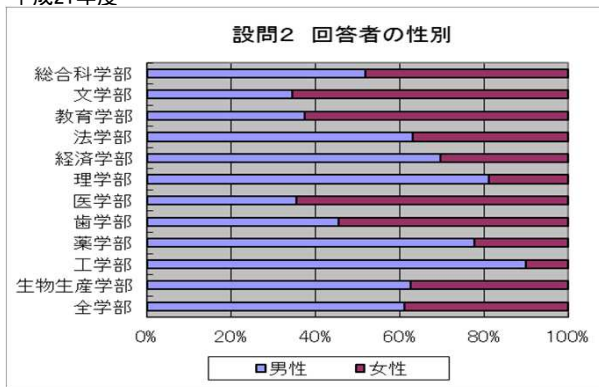
平成22年度

学部名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	146	81	55.5
文学部	155	57	36.8
教育学部	560	275	49.1
法学部	222	82	36.9
経済学部	255	78	30.6
理学部	257	113	44.0
医学部	262	93	35.5
歯学部	103	34	33.0
薬学部	23	15	65.2
工学部	566	403	71.2
生物生産学部	110	56	50.9
全学部合計	2,659	1,287	48.4

#### 【回答者に関して】

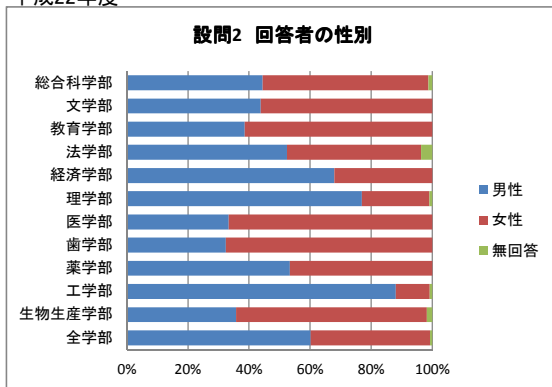
##### ○回答者の性別

平成21年度



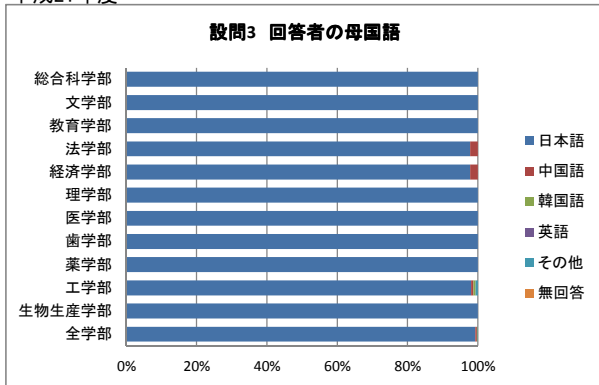
・全学部について、回答者の性別の割合は平成21年度と変わらない。

平成22年度



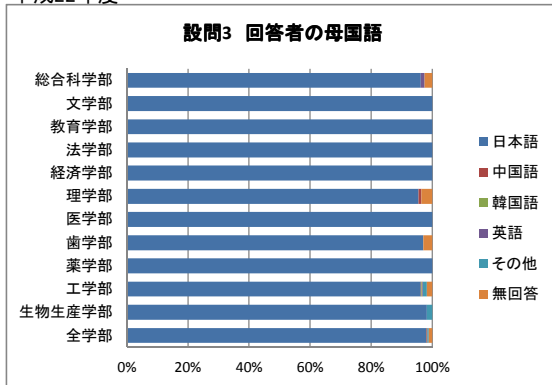
##### ○回答者の母国語

平成21年度



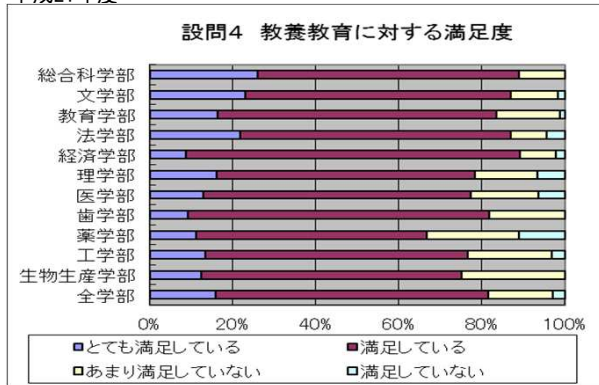
・全学部について、回答者の母国語の割合は平成21年度と変わらない。

平成22年度



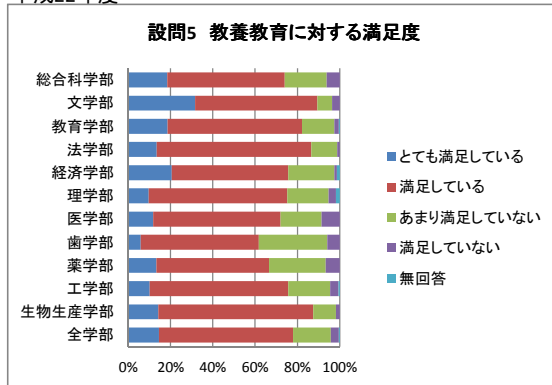
##### ○教養教育に対する満足度

平成21年度

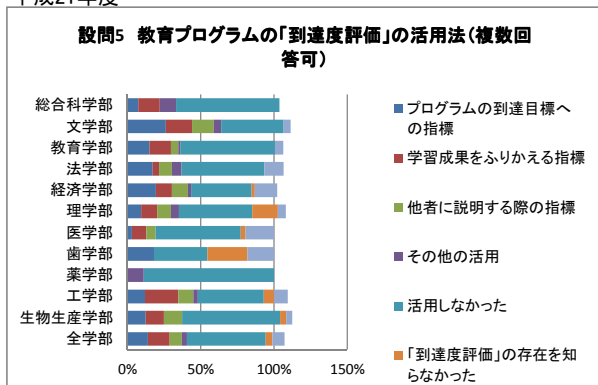


・全学部について、教養教育の満足度は若干減少。  
 ・教養教育の満足度が増加したのは生物生産学部。  
 ・教養教育の満足度が減少したのは総合科学部、経済学部、歯学部。

平成22年度

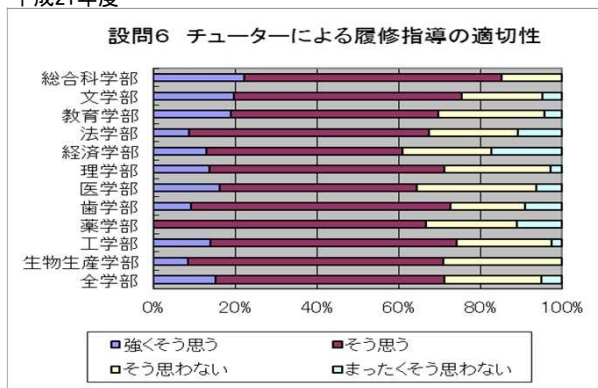


○教育プログラムの「到達度評価」の活用法  
平成21年度



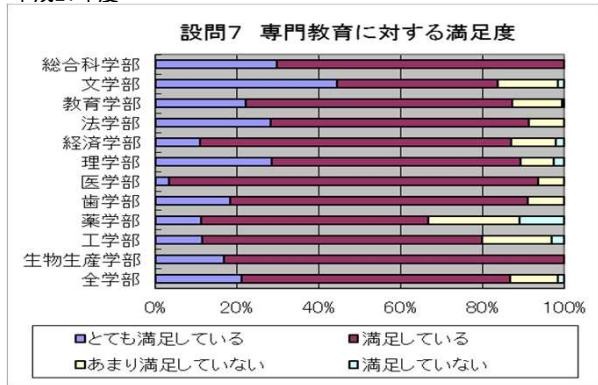
- ・全学部について、教育プログラムの「到達度評価」の活用率は平成21年度と変わらない。
- ・活用率が増加したのは理学部、薬学部。
- ・活用率が減少したのは文学部、法学部。

○チューターによる履修指導の適切性  
平成21年度



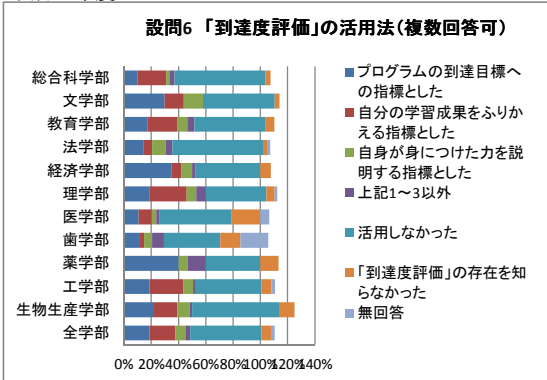
- ・全学部について、チューターの履修指導の適切性の割合は平成21年度と変わらない。
- ・適切だったという回答が増加したのは教育学部。
- ・適切だったという回答が減少したのは総合科学部、法学部、歯学部。

○専門教育に対する満足度  
平成21年度

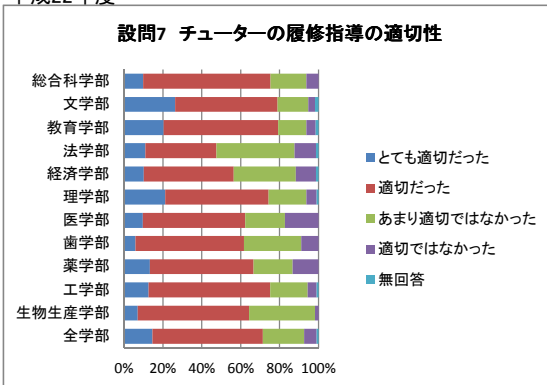


- ・全学部について、専門教育の満足度は平成21年度と変わらない。
- ・専門教育の満足度が増加したのは、薬学部。
- ・専門教育の満足度が減少したのは、総合科学部、医学部、歯学部、生物生産学部。

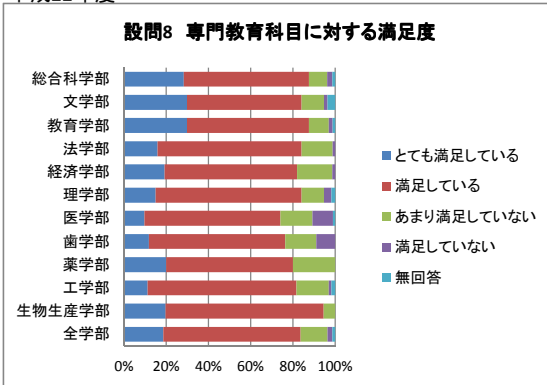
平成22年度



平成22年度

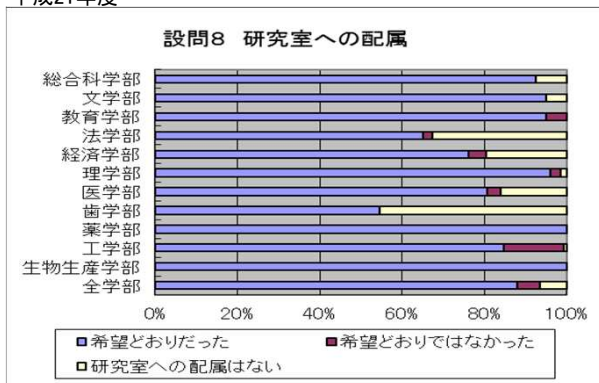


平成22年度

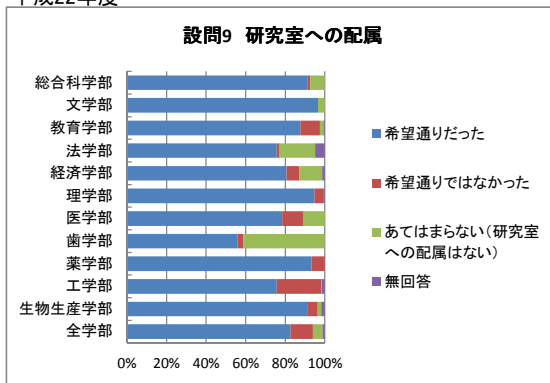


	活用率	
	H21年度	H22年度
総合科学部	29.6%	30.9%
文学部	55.2%	47.4%
教育学部	31.5%	42.2%
法学部	35.0%	30.0%
経済学部	48.7%	47.4%
理学部	32.9%	49.5%
医学部	24.0%	25.3%
歯学部	22.2%	29.6%
薬学部	0.0%	53.3%
工学部	45.5%	43.5%
生物生産学部	30.4%	33.9%
全学部	37.7%	40.6%

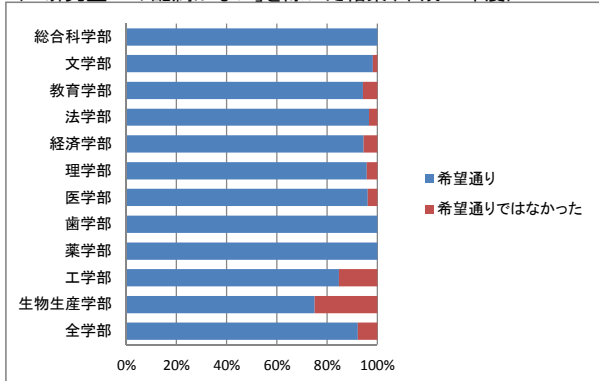
○研究室への配属  
平成21年度



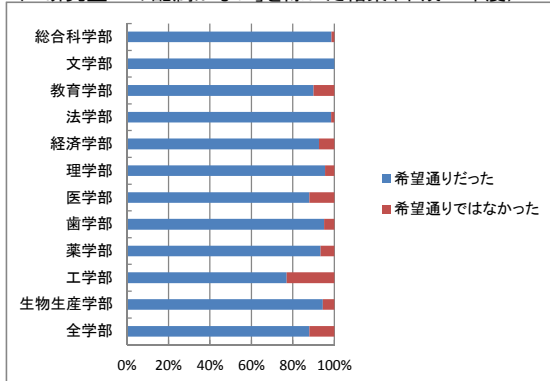
平成22年度



↓「研究室への配属がない」を除いた結果(平成21年度)

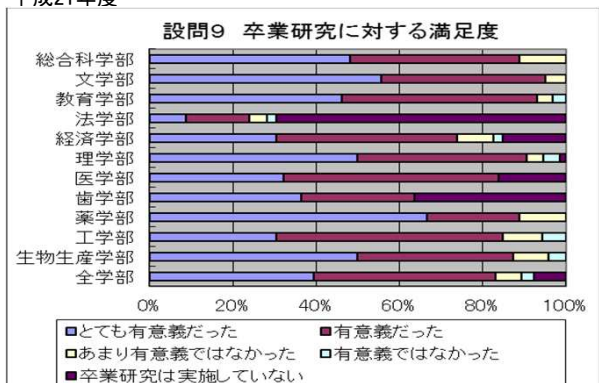


↓「研究室への配属がない」を除いた結果(平成22年度)

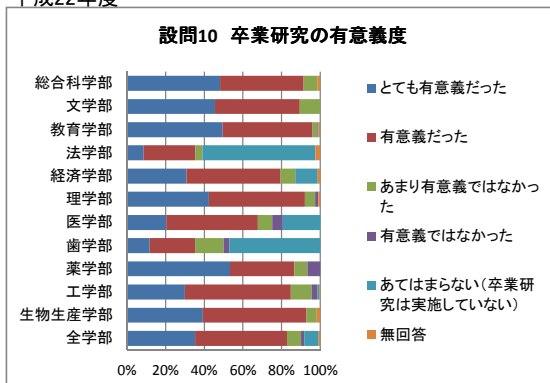


- ・全学部について、研究室への配属が希望通りだった割合は、平成21年度と変わらない。
- ・希望通りだった割合が増加したのは生物生産学部。
- ・希望通りだった割合が減少したのは歯学部、薬学部、工学部。

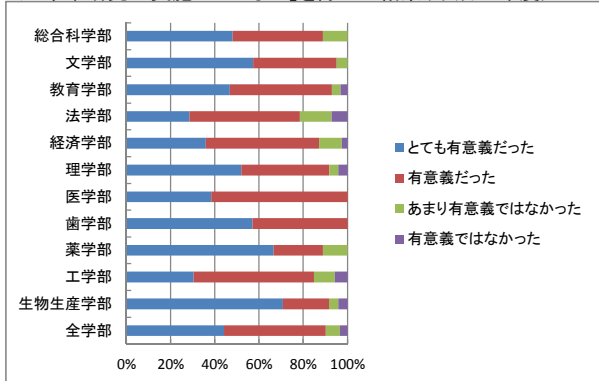
○卒業研究に対する満足度  
平成21年度



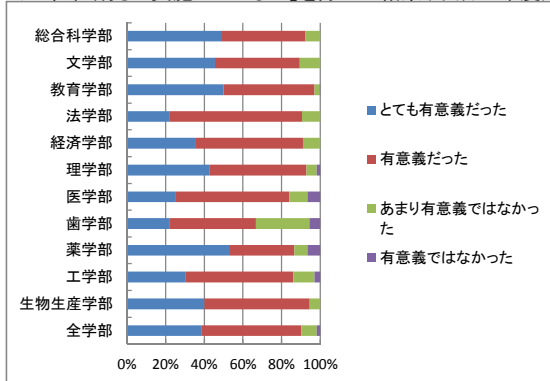
平成22年度



↓「卒業研究は実施していない」を除いた結果(平成21年度)

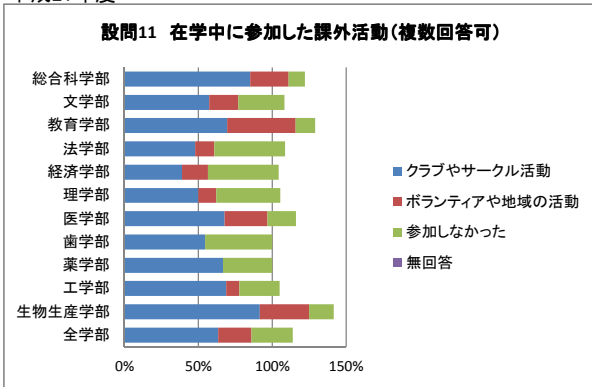


↓「卒業研究は実施していない」を除いた結果(平成22年度)



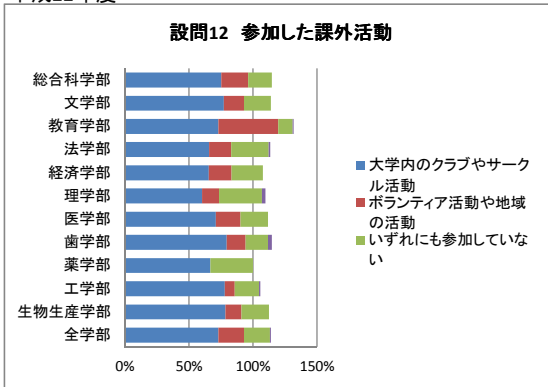
- ・全学部について、卒業研究の有意義度合いは平成21年度と変わらない。
- ・卒業研究の有意義度合いが増加したのは法学部、生物生産学部。
- ・卒業研究の有意義度合いが減少したのは医学部、歯学部。

【学生生活に関して】  
○課外活動への参加  
平成21年度



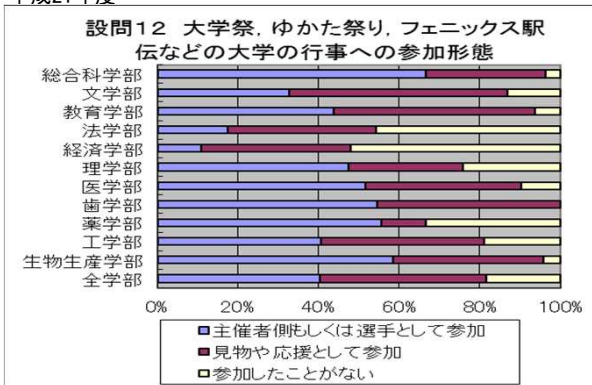
- ・全学部について、課外活動への参加率は若干増加。
- ・課外活動への参加率が増加したのは経済学部、歯学部。
- ・課外活動への参加率が減少したのは総合科学部、生物生産学部。

平成22年度



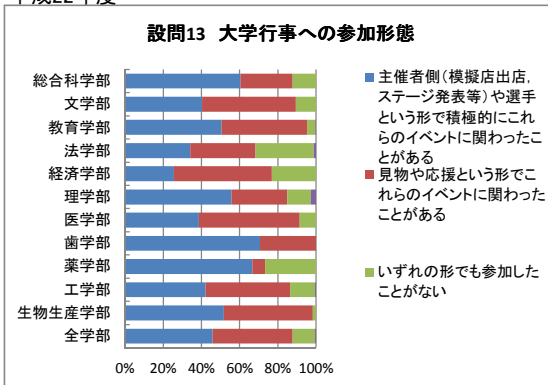
	参加率	
	H21年度	H22年度
総合科学部	88.9%	81.5%
文学部	68.9%	78.9%
教育学部	86.7%	88.0%
法学部	52.2%	69.5%
経済学部	52.2%	75.6%
理学部	56.8%	63.7%
医学部	80.6%	78.5%
歯学部	54.5%	79.4%
薬学部	66.7%	66.7%
工学部	72.8%	79.9%
生物生産学部	83.3%	78.6%
全学部	72.1%	79.0%

○大学行事への参加  
平成21年度



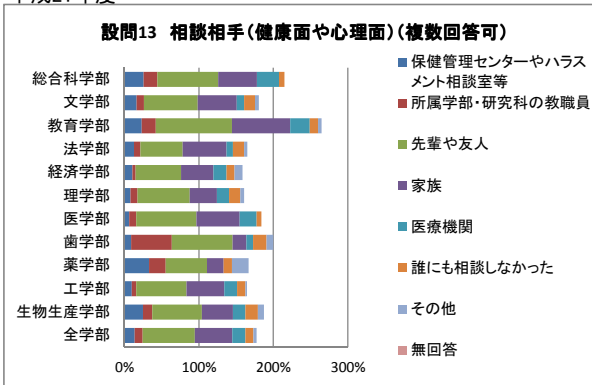
- ・全学部について、大学行事への参加率は増加。
- ・大学行事への参加率が増加したのは経済学部、生物生産学部。
- ・大学行事への参加率が減少したのは総合科学部。

平成22年度



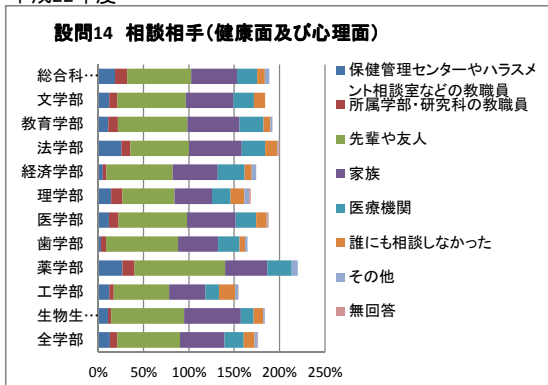
	参加率	
	H21年度	H22年度
総合科学部	96.3%	87.7%
文学部	83.6%	89.5%
教育学部	93.7%	95.3%
法学部	54.3%	68.3%
経済学部	47.8%	76.9%
理学部	75.7%	85.0%
医学部	90.3%	91.4%
歯学部	100.0%	100.0%
薬学部	66.7%	73.3%
工学部	81.0%	86.4%
生物生産学部	66.7%	98.2%
全学部	80.2%	87.7%

○相談相手(健康面や心理面)  
平成21年度



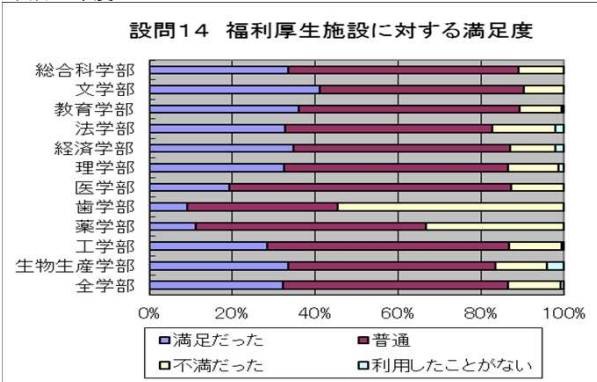
- ・全学部について、健康面や心理面について誰にも相談しなかった割合は、平成21年度と変わらない。
- ・誰にも相談しなかった割合が減少したのは歯学部、薬学部。
- ・誰にも相談しなかった割合が増加したのは医学部、工学部。

平成22年度



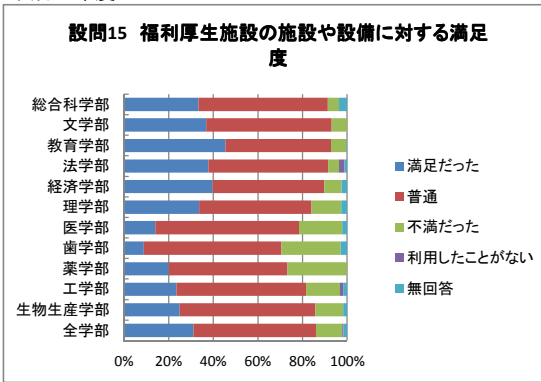
	非相談率	
	H21年度	H22年度
総合科学部	7.4%	8.6%
文学部	14.8%	12.3%
教育学部	11.4%	7.3%
法学部	15.2%	13.4%
経済学部	10.9%	7.7%
理学部	14.9%	15.0%
医学部	6.5%	11.8%
歯学部	18.2%	5.9%
薬学部	11.1%	0.0%
工学部	11.4%	17.6%
生物生産学部	16.7%	10.7%
全学部	10.9%	12.3%

○福利厚生施設の施設や設備に対する満足度  
平成21年度

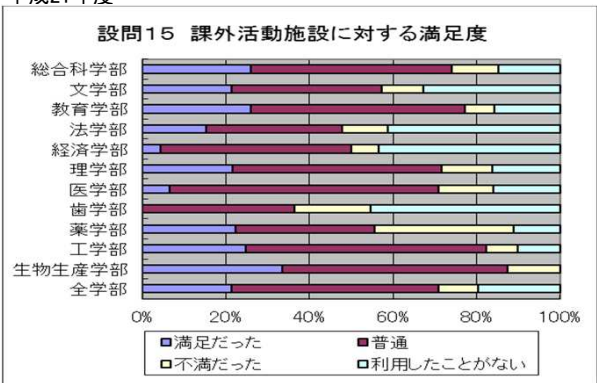


- ・全学部について、福利厚生施設の満足度は平成21年度と変わらない。
- ・福利厚生施設の満足度が増加したのは文学部、経済学部。
- ・福利厚生施設の満足度が減少したのは医学部、薬学部。

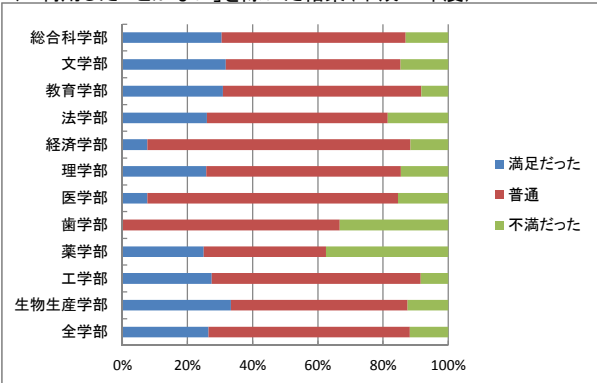
平成22年度



○課外活動施設の施設や設備に対する満足度  
平成21年度

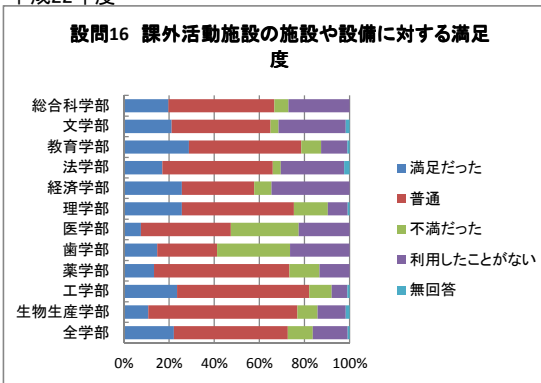


↓「利用したことがない」を除いた結果(平成21年度)

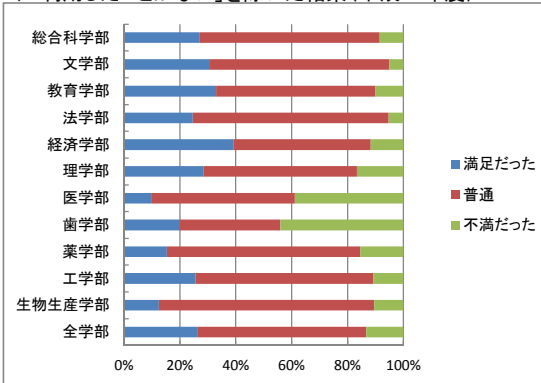


- ・全学部について、課外活動施設の満足度は平成21年度と変わらない。
- ・課外活動施設の満足度が増加したのは経済学部、歯学部。
- ・課外活動施設の満足度が減少したのは薬学部、生物生産学部。
- ・課外活動施設の利用率が増加したのは総合科学部、歯学部、生物生産学部。
- ・課外活動施設の利用率が減少したのは総合科学部、医学部、生物生産学部。

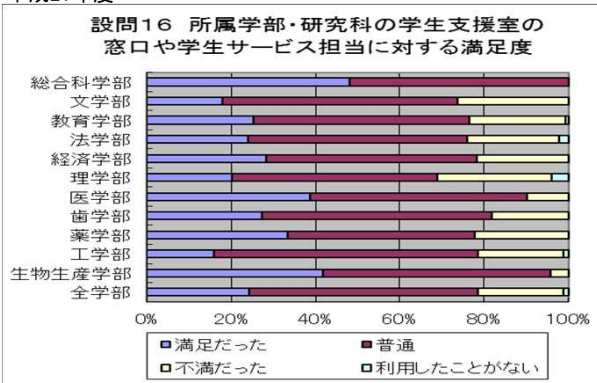
平成22年度



↓「利用したことがない」を除いた結果(平成22年度)

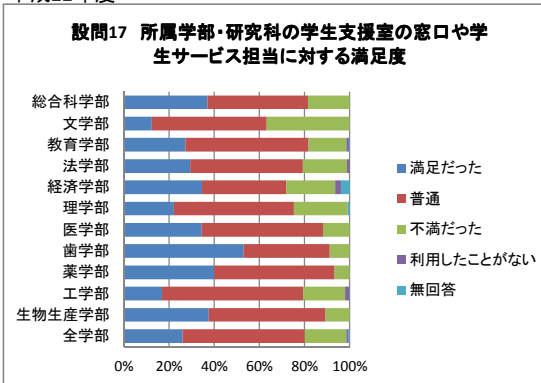


○所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足度  
平成21年度



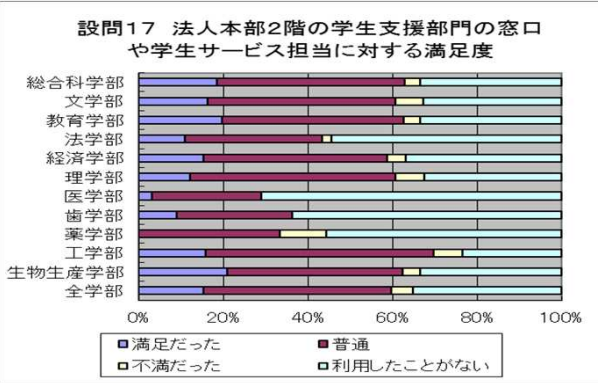
- ・全学部について、所属学部・研究科の学生支援室の満足度は、平成21年度と変わらない。
- ・学生支援室の満足度が増加したのは歯学部。

平成22年度

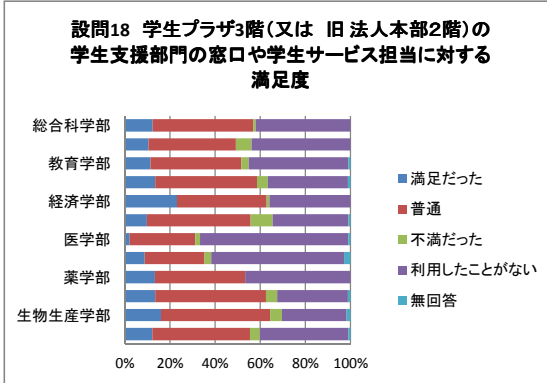


・学生支援室の満足度が減少したのは総合科学部。

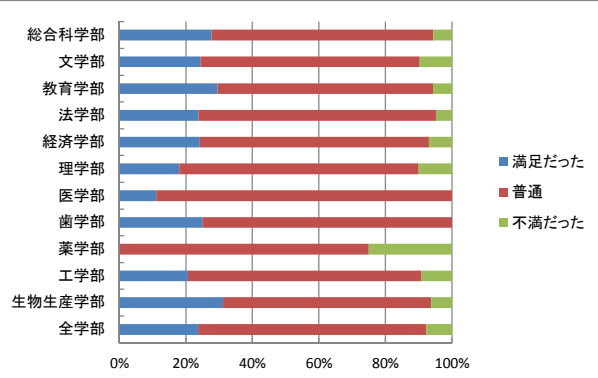
**○学生プラザ3階(又は 旧法人本部2階)の学生支援部門の窓口や学生サービス担当に対する満足度**  
平成21年度



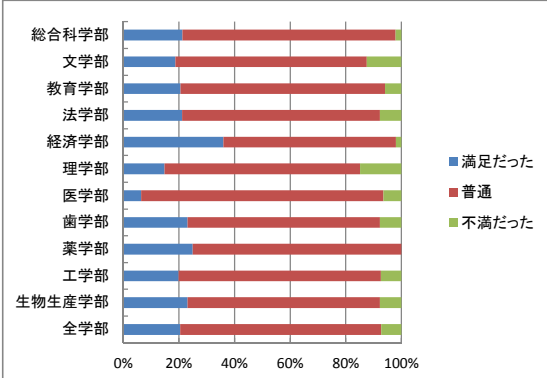
平成22年度



↓「利用したことがない」を除いた結果(平成21年度)



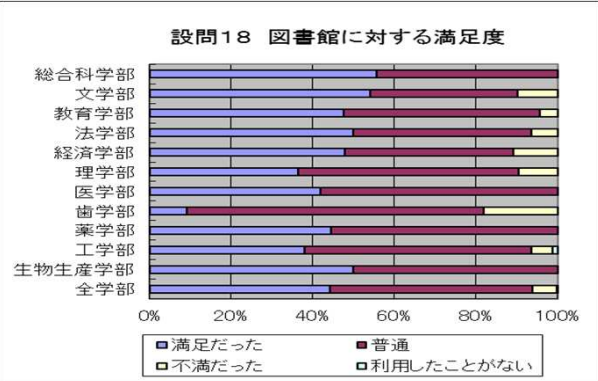
↓「利用したことがない」を除いた結果(平成22年度)



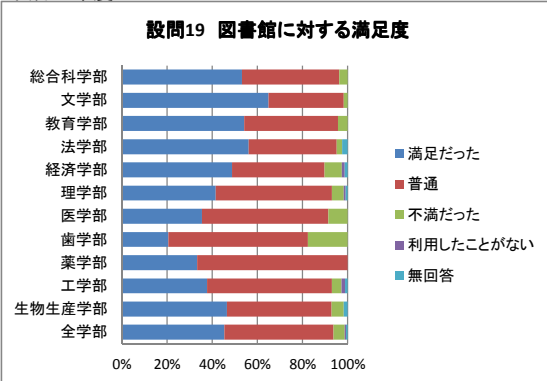
・全学部について、学生プラザ3階(又は 旧法人本部2階)の学生支援部門の満足度は、若干減少。

- ・学生支援部門の満足度が増加したのは経済学部、薬学部。
- ・学生支援部門の満足度が減少したのは文学部、教育学部、生物生産学部。
- ・学生支援部門の利用率が増加したのは法学部、薬学部。
- ・学生支援部門の利用率が減少したのは総合科学部、文学部、教育学部。

**○図書館に対する満足度**  
平成21年度

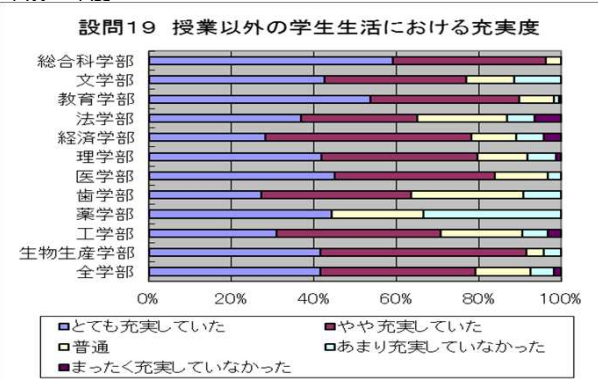


平成22年度

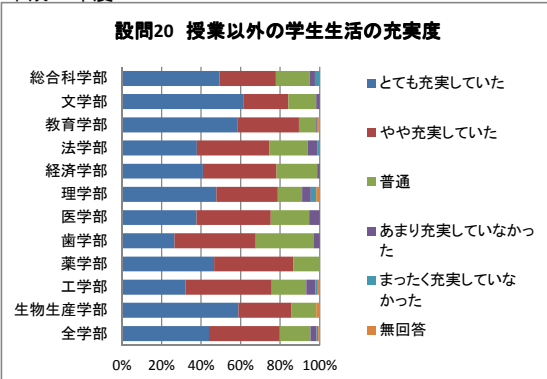


- ・全学部について、図書館の満足度は平成21年度と変わらない。
- ・図書館の満足度が増加したのは文学部、理学部、歯学部。
- ・図書館の満足度が減少したのは医学部、薬学部。

**○授業以外の学生生活の充実度**  
平成21年度



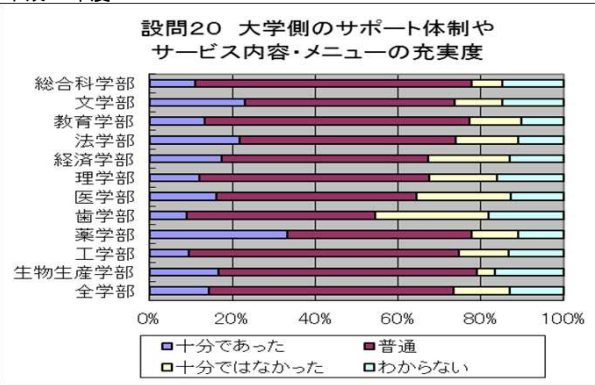
平成22年度



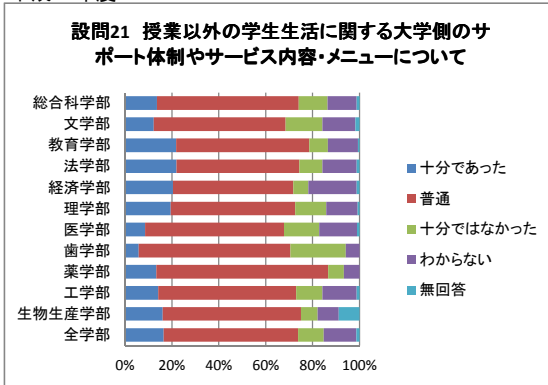
・全学部について、授業以外の学生生活の充実度は平成21年度と変わらない。

- ・学生生活の充実度が増加したのは文学部、薬学部。
- ・学生生活の充実度が減少したのは総合科学部、医学部。

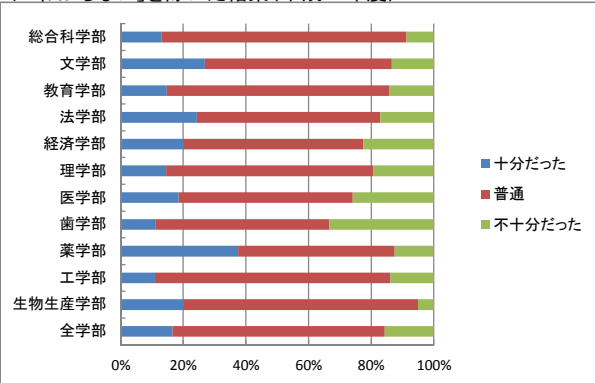
**○授業以外の学生生活に関する大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて**  
平成21年度



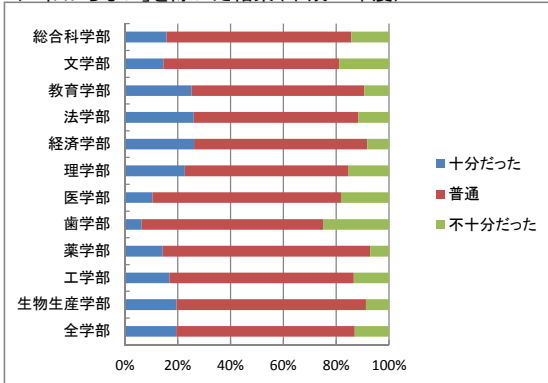
平成22年度



↓「わからない」を除いた結果(平成21年度)



↓「わからない」を除いた結果(平成22年度)

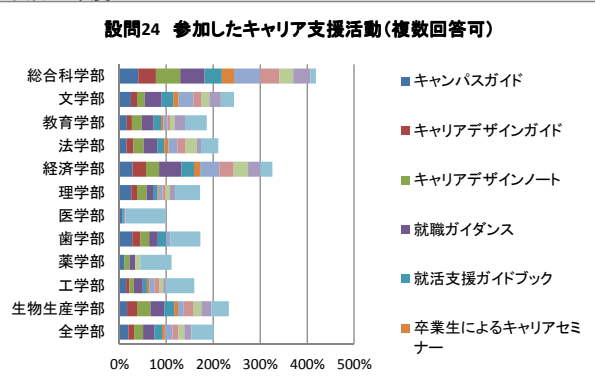


- ・全学部について、授業以外の大学側のサポートやサービスが十分であったという割合は、若干増加。
- ・大学側のサポートやサービスが十分であったという割合が増加したのは教育学部、経済学部、理学部。
- ・大学側のサポートやサービスが十分であったという割合が減少したのは文学部、薬学部。

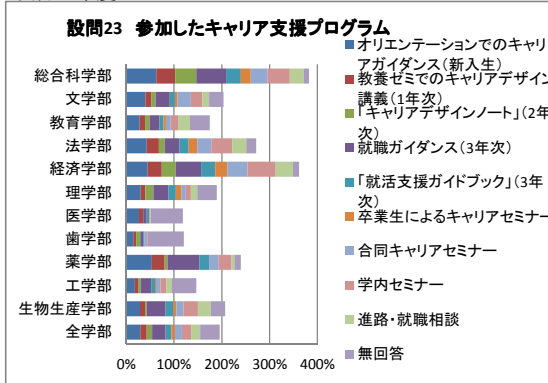
**【進路・職業選択及び就職活動に関して】**

**○参加したキャリア支援プログラム**

平成21年度

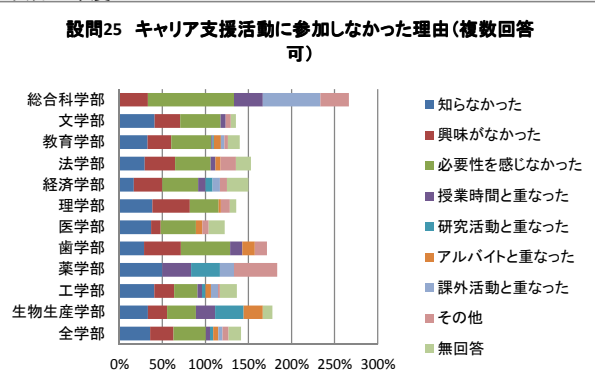


平成22年度

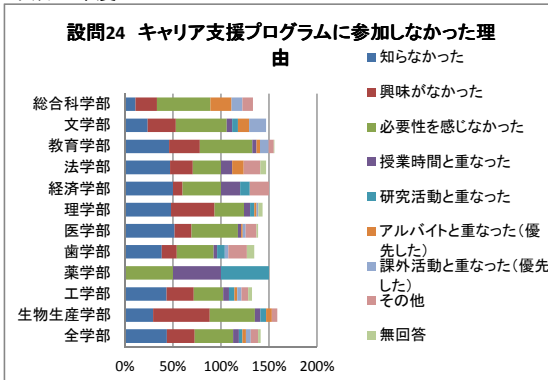


**○キャリア支援プログラムに参加しなかった理由**

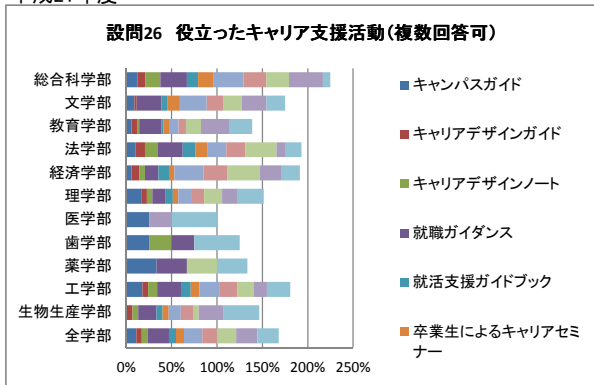
平成21年度



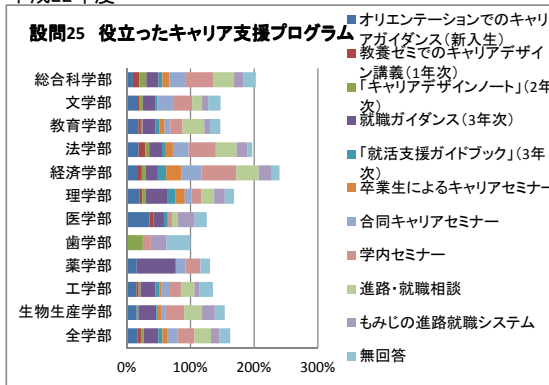
平成22年度



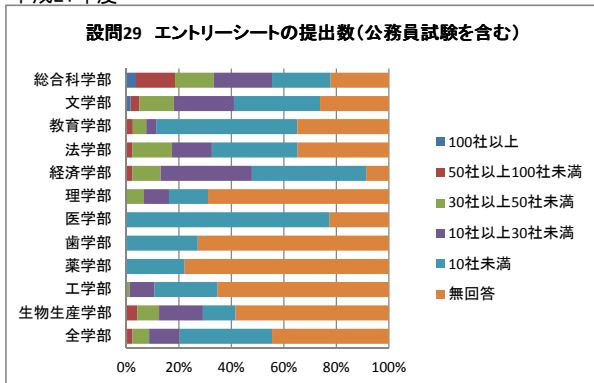
○役立つキャリア支援プログラム  
平成21年度



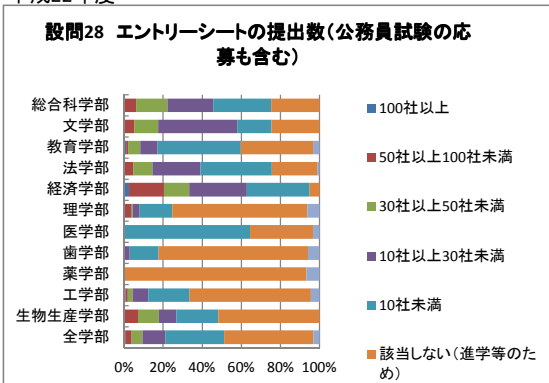
平成22年度



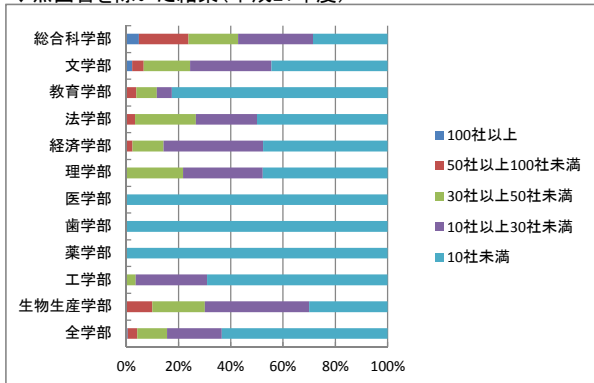
○エントリーシートの提出数(公務員試験の応募も含む)  
平成21年度



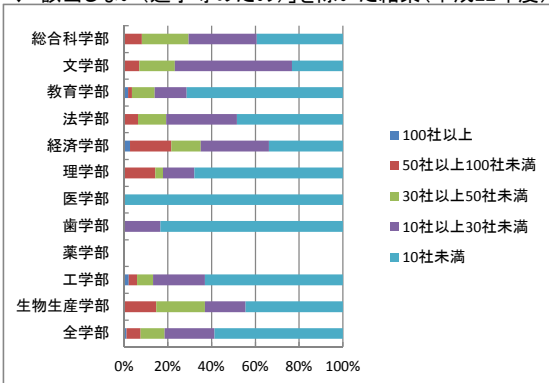
平成22年度



↓無回答を除いた結果(平成21年度)



↓「該当しない(進学等のため)」を除いた結果(平成22年度)

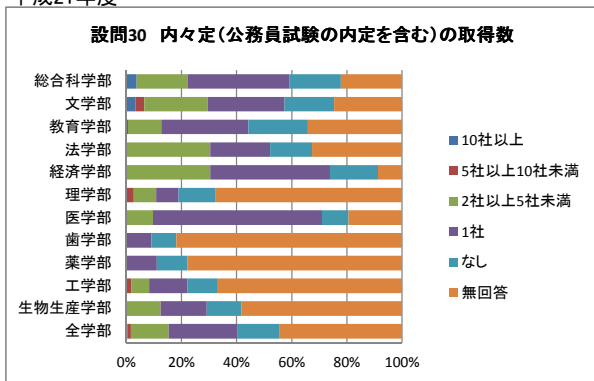


	平均提出数	
	H21年度	H22年度
総合科学部	33.8	17.2
文学部	21.1	17.8
教育学部	11.3	8.5
法学部	19.0	14.4
経済学部	16.5	28.7
理学部	17.2	4.9
医学部	5.0	3.3
歯学部	5.0	1.4
薬学部	5.0	-
工学部	10.4	5.6
生物生産学部	25.0	12.5
全学部	15.2	9.5

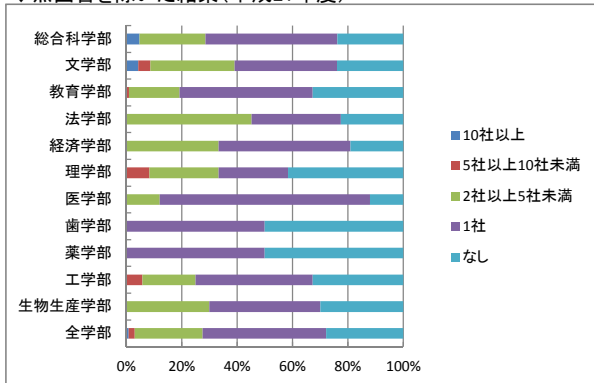
- ・全学部について、エントリーシートの平均提出数は減少。
- ・エントリーシートの平均提出数が増加したのは経済学部。
- ・エントリーシートの平均提出数が減少したのは総合科学部、理学部、生物生産学部。



○内々定(公務員試験の内定を含む)の取得数  
平成21年度

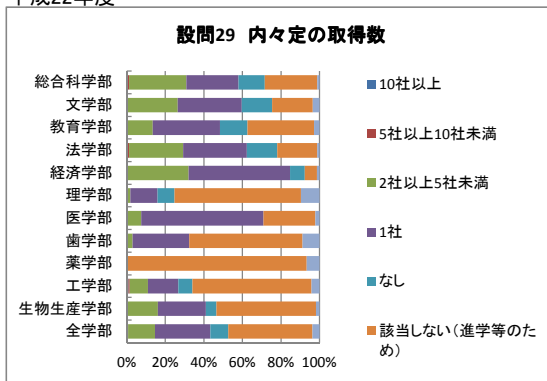


↓無回答を除いた結果(平成21年度)

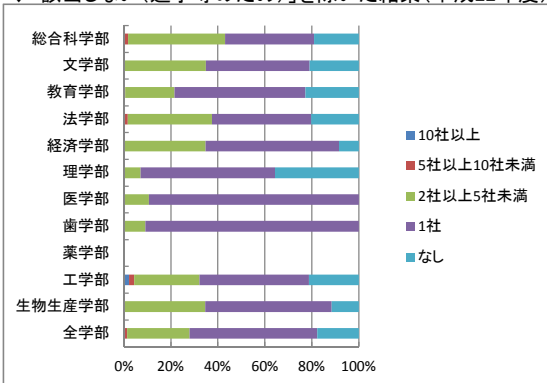


- ・全学部について、内々定の平均取得数は平成21年度と変わらない。
- ・内々定の平均取得数が増加したのは歯学部。
- ・内々定の平均取得数が減少したのは文学部、理学部。
- ・全学部について、内々定の取得率は増加。
- ・内々定の取得率が増加したのは医学部、歯学部、生物生産学部。
- ・内々定の取得率が減少したのは教育学部、理学部。

平成22年度



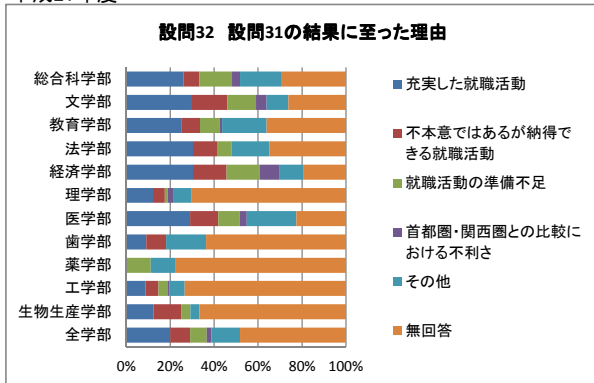
↓「該当しない(進学等のため)」を除いた結果(平成22年度)



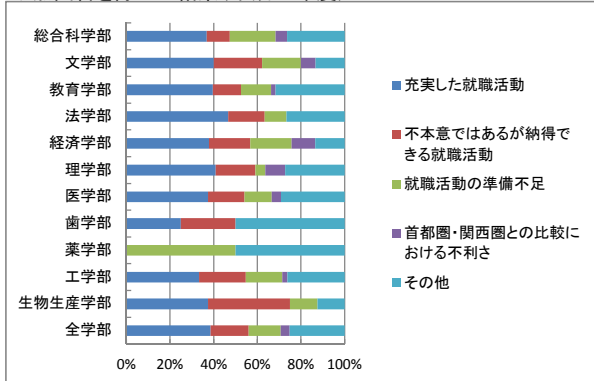
	平均取得数	
	H21年度	H22年度
総合科学部	1.8	2.0
文学部	2.2	1.7
教育学部	1.2	1.3
法学部	1.9	1.8
経済学部	1.6	1.8
理学部	1.8	0.8
医学部	1.2	1.3
歯学部	0.5	1.2
薬学部	0.5	-
工学部	1.5	1.8
生物生産学部	1.5	1.8
全学部	1.6	1.6

○就職活動を振り返って

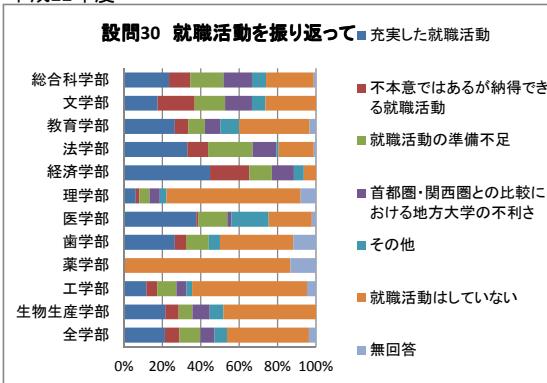
平成21年度



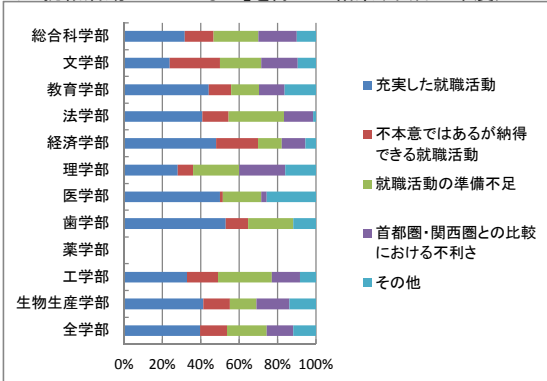
↓無回答を除いた結果(平成21年度)



平成22年度



↓「就職活動はしていない」を除いた結果(平成22年度)



- ・全学部について、就職活動を振り返って納得している割合は平成21年度と変わらない。
- ・前年度より就職活動の準備不足と首都圏・関西圏との比較における不利さを回答するものが増加。
- ・就職活動に納得している割合が増加したのは経済学部、歯学部。
- ・就職活動に納得している割合が減少したのは文学部、理学部、生物生産学部。
- ・全学部について、就職活動を振り返って不満を抱いている割合は、増加。
- ・就職活動に不満がある割合が増加したのは法学部、理学部、工学部、生物生産学部。
- ・就職活動に不満がある割合が減少した学部はない。



#### 4. 平成21年度との比較(大学院課程)

##### 【回答率に関して】

平成21年度

研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	67	6	9.0
文学研究科	45	12	26.7
教育学研究科	184	38	20.7
社会科学研究科	87	18	20.7
理学研究科	137	34	24.8
先端物質科学研究科	119	34	28.6
医歯薬学総合研究科	67	12	17.9
保健学研究科	48	6	12.5
工学研究科	301	71	23.6
生物圏科学研究科	105	17	16.2
国際協力研究科	42	13	31.0
法務研究科	41	13	31.7
全研究科合計	1,243	274	22.0

- ・全研究科について、回答率は2倍近く増加。
- ・回答率が減少したのは法務研究科。

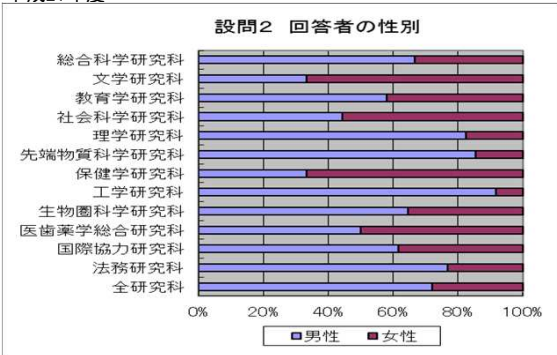
平成22年度

研究科名	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学研究科	51	24	47.1
文学研究科	68	28	41.2
教育学研究科	186	78	41.9
社会科学研究科	71	17	23.9
理学研究科	150	54	36.0
先端物質科学研究科	95	56	58.9
医歯薬学総合研究科	89	28	31.5
保健学研究科	39	13	33.3
工学研究科	316	170	53.8
生物圏科学研究科	79	35	44.3
国際協力研究科	51	19	37.3
法務研究科	54	12	22.2
全研究科合計	1,249	534	42.8

##### 【回答者に関して】

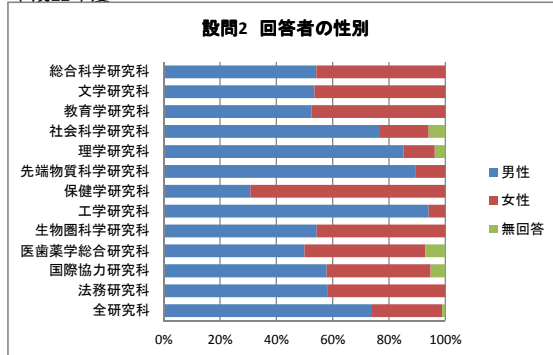
##### ○回答者の性別

平成21年度



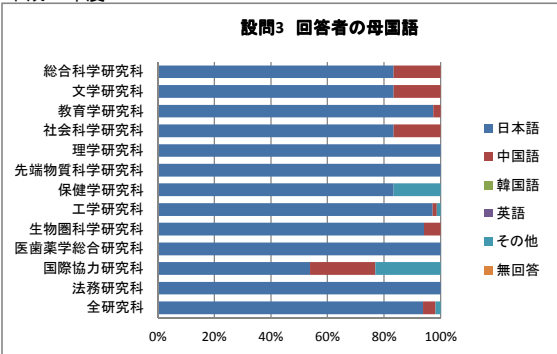
- ・全研究科の回答者の男女比は平成21年度と変わらない。

平成22年度



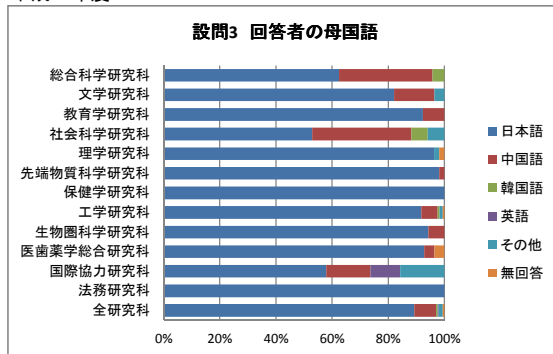
##### ○回答者の母国語

平成21年度



- ・全研究科について、中国語を母国語とする学生回答者の構成比が増加。

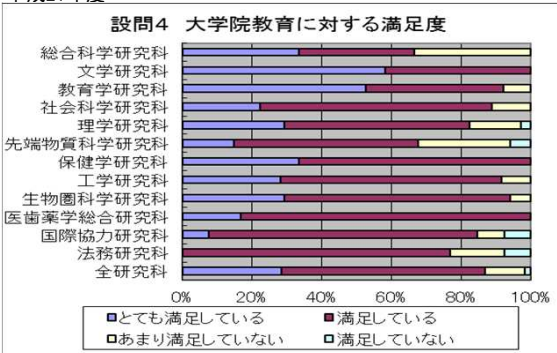
平成22年度



##### 【教育に関して】

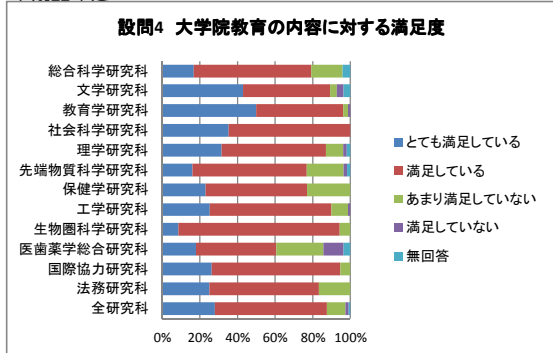
##### ○大学院教育に対する満足度

平成21年度

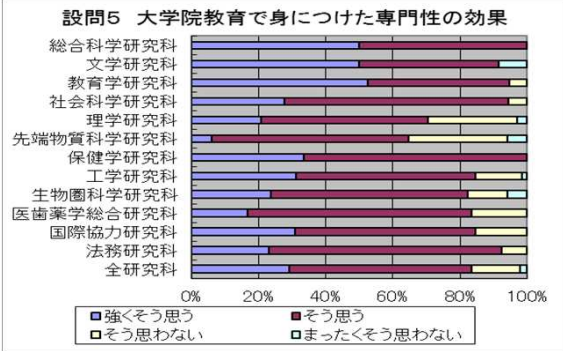


- ・全研究科について、大学院教育の内容に対する満足度の割合は平成21年度と変わらない。
- ・満足度が上がったのは総合科学研究科、社会科学研究科。
- ・満足度が下がったのは保健学研究科、医歯薬学総合研究科。

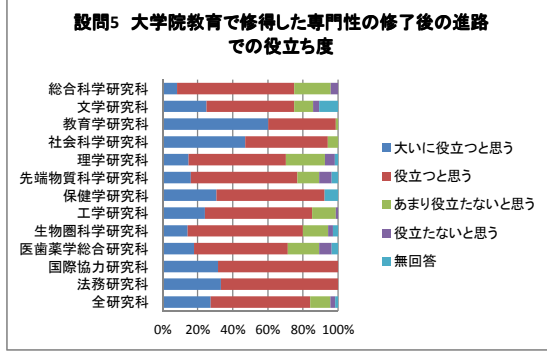
平成22年度



○大学院教育で修得した専門性の修了後の進路での役立ち度  
平成21年度

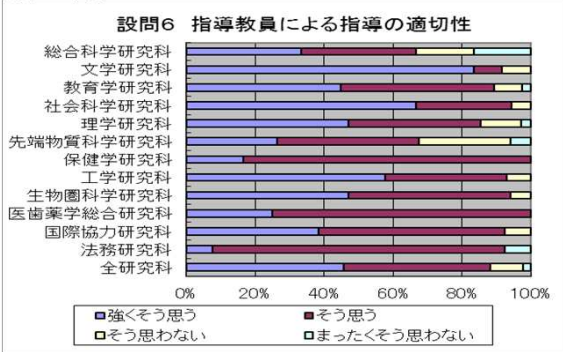


平成22年度

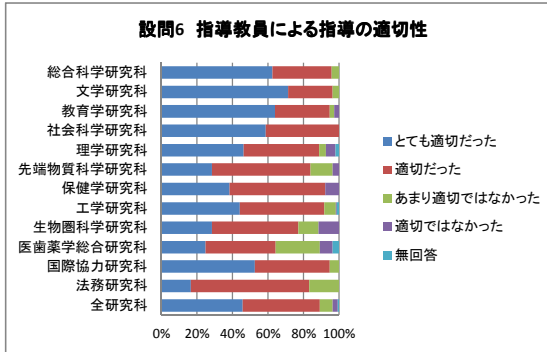


- ・全研究科について、大学院教育で修得した専門性が修了後の進路で役立つか否かに対する意識は平成21年度と変わらない。
- ・役立つと思うという回答割合が増えたのは国際協力研究科、法務研究科。
- ・役立つと思うという回答割合が減ったのは総合科学研究科、文学研究科。

○指導教員による指導の適切性  
平成21年度

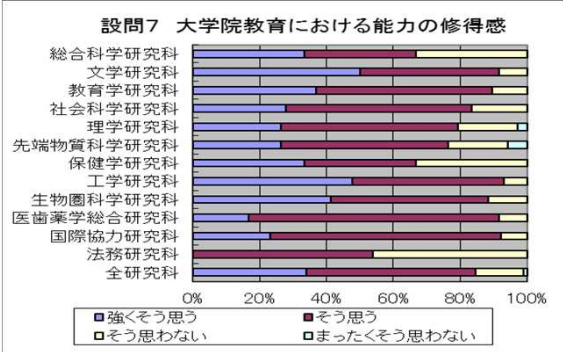


平成22年度

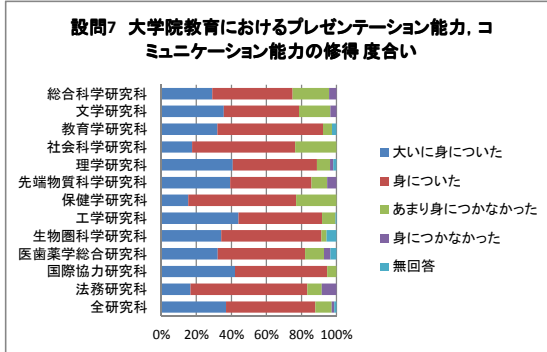


- ・全研究科について、指導教員による指導の適切性の割合は平成21年度と変わらない。
- ・適切だったという回答が増えたのは総合科学研究科、社会科学研究科、先端物質科学研究科。
- ・適切だったという回答が減ったのは保健学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科。

○大学院教育におけるプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の修得度合い  
平成21年度

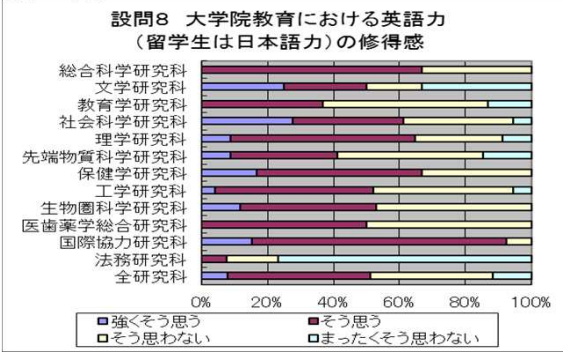


平成22年度

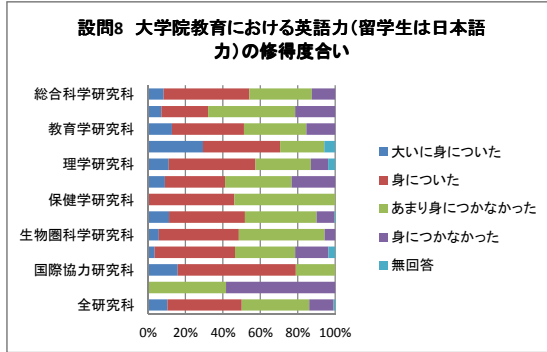


- ・全研究科について、大学院教育における能力の修得度合いはやや向上している。
- ・能力の修得度合いが伸びたのは保健学研究科、法務研究科。
- ・能力の修得度合いが低下したのは文学研究科。

○大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合い  
平成21年度

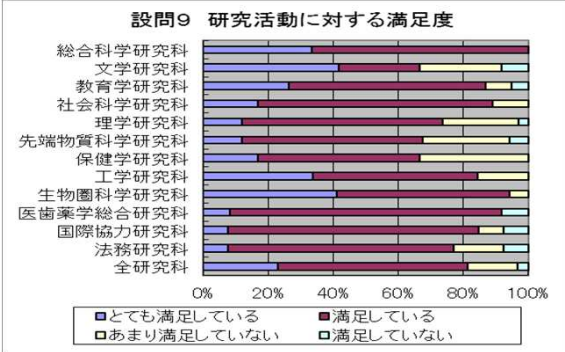


平成22年度



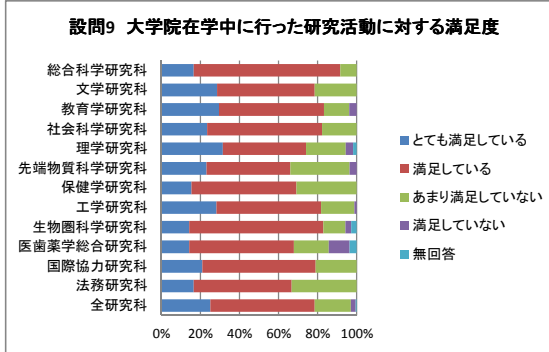
- ・全研究科について、大学院教育における英語力(留学生は日本語力)の修得度合いの割合は平成21年度と変わらない。
- ・英語力(留学生は日本語力)の修得度合いが伸びたのは教育学研究科、社会科学研究科。
- ・英語力(留学生は日本語力)の修得度合いが低下したのは総合科学研究科、文学研究科、保健学研究科、国際協力研究科、法務研究科。

○大学院在学中に行った研究活動に対する満足度  
平成21年度



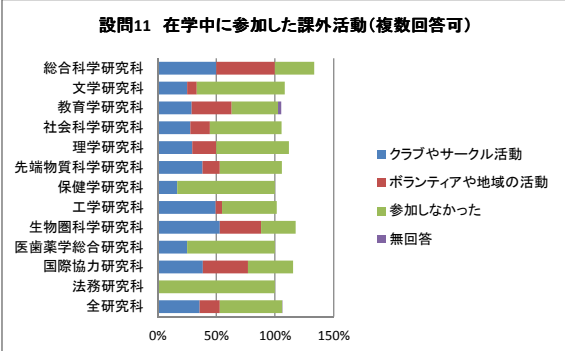
- ・全研究科について、研究活動の満足度は若干減少。
- ・研究活動の満足度が増加したのは文学研究科。
- ・研究活動の満足度が減少したのは総合科学研究科、医歯薬学総合研究科。

平成22年度



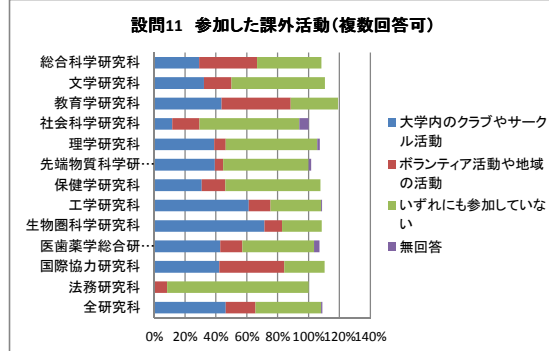
【学生生活に関して】

○参加した課外活動  
平成21年度



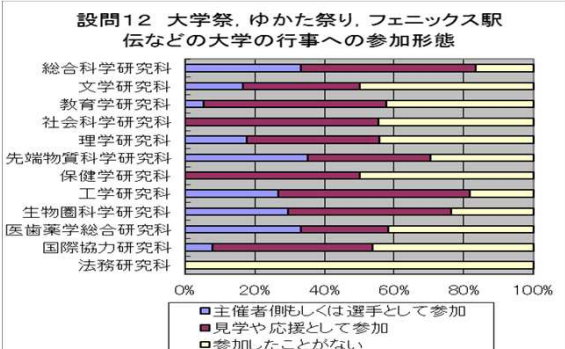
- ・全研究科について、課外活動への参加率は増加。
- ・課外活動への参加率が大きく増加したのは保健学研究科、医歯薬学総合研究科。
- ・課外活動への参加率が減少したのは総合科学研究科、社会科学研究科。

平成22年度



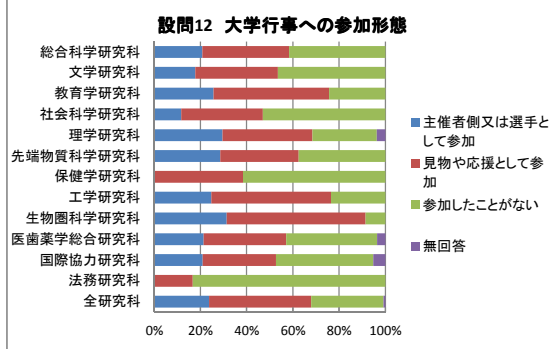
研究科名	参加率	
	H21年度	H22年度
総合科学研究科	66.7%	58.3%
文学研究科	25.0%	39.3%
教育学研究科	57.9%	69.2%
社会科学研究科	38.9%	29.4%
理学研究科	38.2%	38.9%
先端物質科学研究科	47.1%	42.9%
保健学研究科	16.7%	38.5%
工学研究科	53.5%	66.5%
生物圏科学研究科	70.6%	74.3%
医歯薬学総合研究科	25.0%	50.0%
国際協力研究科	61.5%	73.7%
法務研究科	0.0%	8.3%
全研究科	46.4%	56.6%

○大学行事への参加  
平成21年度



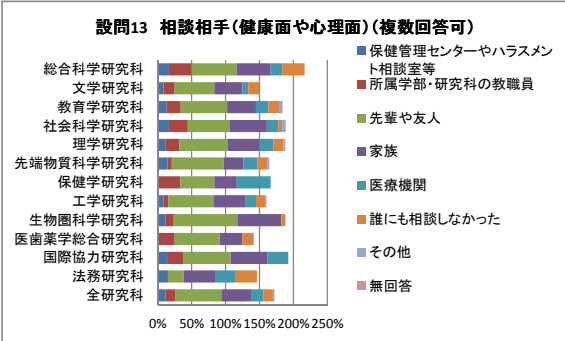
- ・全研究科について、大学行事への参加率は若干増加。
- ・大学行事への参加率が大きく増加したのは教育学研究科、生物圏科学研究科、法務研究科。
- ・大学行事への参加率が大きく減少したのは総合科学研究科、保健学研究科。

平成22年度



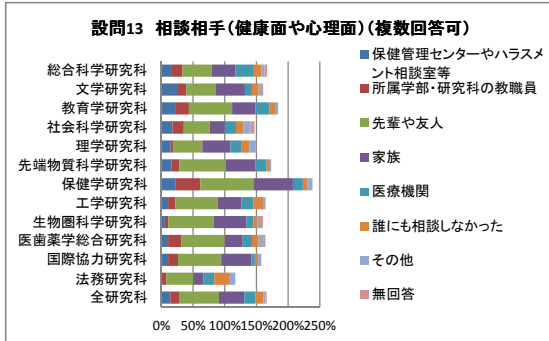
研究科名	参加率	
	H21年度	H22年度
総合科学研究科	83.3%	58.3%
文学研究科	50.0%	53.6%
教育学研究科	57.9%	75.6%
社会科学研究科	55.6%	47.1%
理学研究科	55.9%	68.5%
先端物質科学研究科	70.6%	62.5%
保健学研究科	50.0%	38.5%
工学研究科	81.7%	76.5%
生物圏科学研究科	76.5%	91.4%
医歯薬学総合研究科	58.3%	57.1%
国際協力研究科	53.8%	52.6%
法務研究科	0.0%	16.7%
全研究科	63.5%	68.0%

○相談相手(健康面や心理面)  
平成21年度



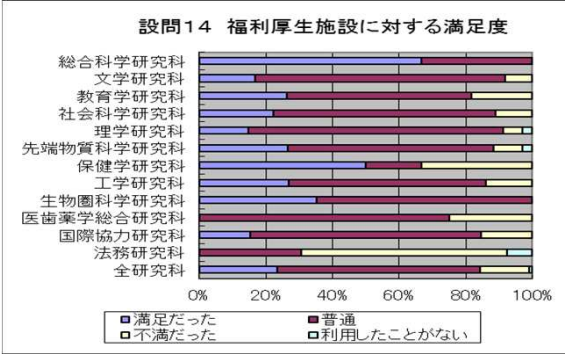
- ・全研究科について、健康面や心理面について誰にも相談しなかったと回答した学生の割合は平成21年度と変わらない。
- ・健康面や心理面について誰にも相談しなかった割合が減少したのは総合科学研究科。
- ・健康面や心理面について誰にも相談しなかった割合が増加したのは社会科学研究科、保健学研究科、法務研究科。

平成22年度

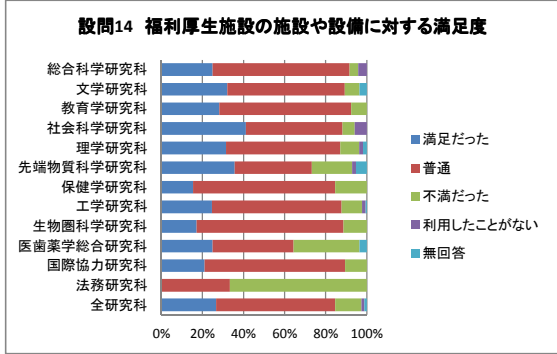


研究科名	非相談率	
	H21年度	H22年度
総合科学研究科	33.3%	12.5%
文学研究科	16.7%	10.7%
教育学研究科	15.8%	9.0%
社会科学研究科	5.6%	11.8%
理学研究科	14.7%	13.0%
先端物質科学研究科	14.7%	5.4%
保健学研究科	0.0%	7.7%
工学研究科	14.1%	16.5%
生物圏科学研究科	5.9%	5.7%
医歯薬学総合研究科	16.7%	10.7%
国際協力研究科	0.0%	5.3%
法務研究科	30.8%	25.0%
全研究科	13.9%	11.8%

○福利厚生施設の施設や設備に対する満足度  
平成21年度

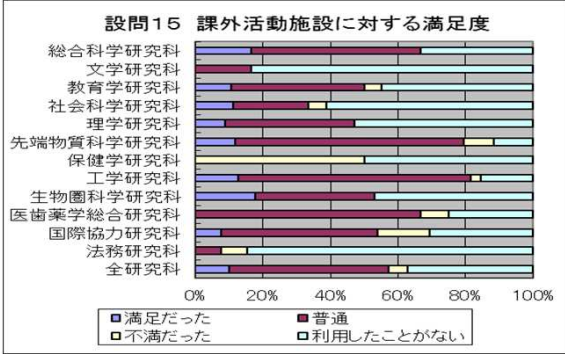


平成22年度

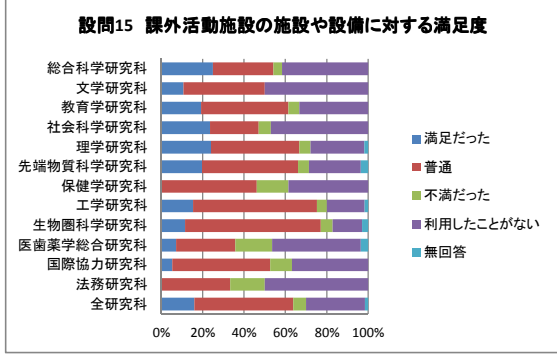


- ・全研究科について、福利厚生施設の満足度は平成21年度と変わらない。
- ・福利厚生施設の満足度が増加したのは文学研究科、社会科学研究科、理学研究科、医歯薬学総合研究科。
- ・福利厚生施設の満足度が減少したのは総合科学研究科、保健学研究科。

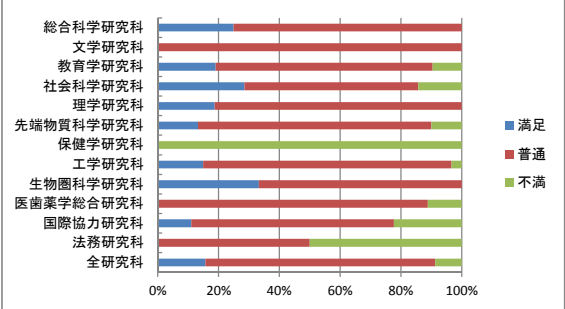
○課外活動施設の施設や設備に対する満足度  
平成21年度



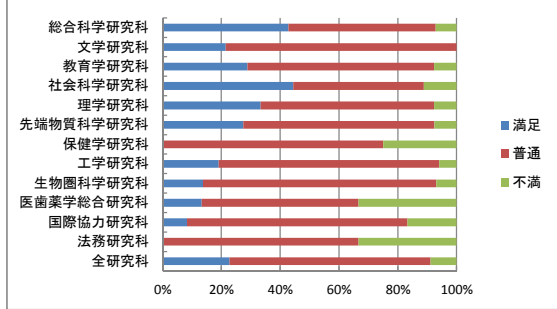
平成22年度



↓「利用したことがない」を除いた結果(平成21年度)

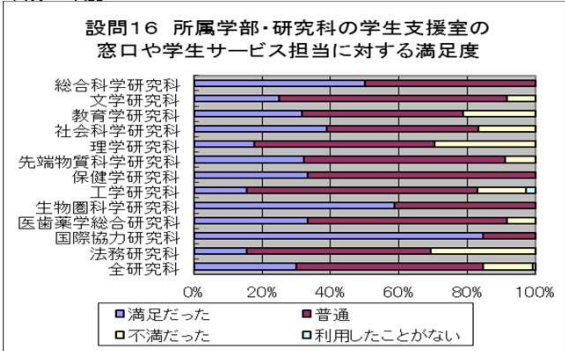


↓「利用したことがない」を除いた結果(平成22年度)

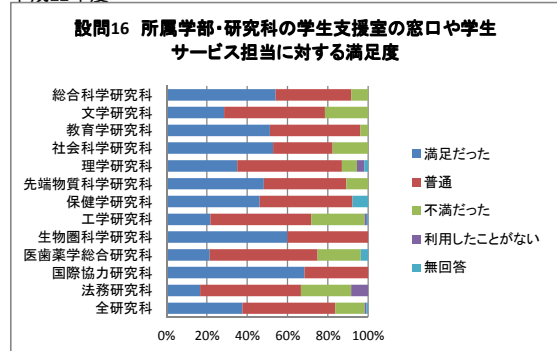


- ・全研究科について、課外活動施設の満足度は増加。
- ・課外活動施設の満足度が増加したのは総合科学研究科、文学研究科、生物圏科学研究科。
- ・課外活動施設の満足度が減少したのは生物圏科学研究科。
- ・課外活動施設の利用率が増加したのは文学研究科、生物圏科学研究科、法務研究科。
- ・課外活動施設の利用率が減少したのは医歯薬学総合研究科。

○所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当に対する満足度  
平成21年度

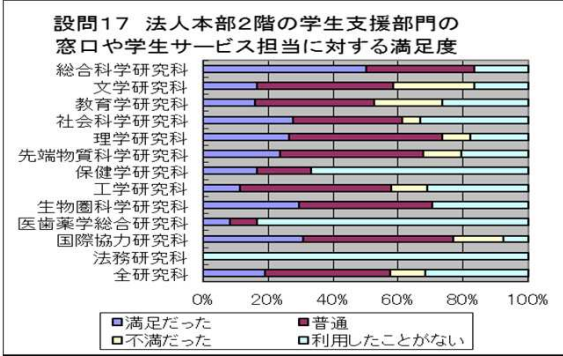


平成22年度

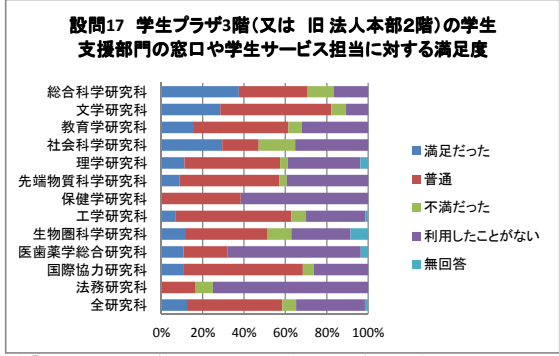


- ・全研究科について、所属学部・研究科の学生支援室の満足度は若干増加。
- ・所属学部・研究科の学生支援室の満足度が増加したのは教育学研究科、理学研究科。
- ・所属学部・研究科の学生支援室の満足度が減少したのは国際協力研究科。

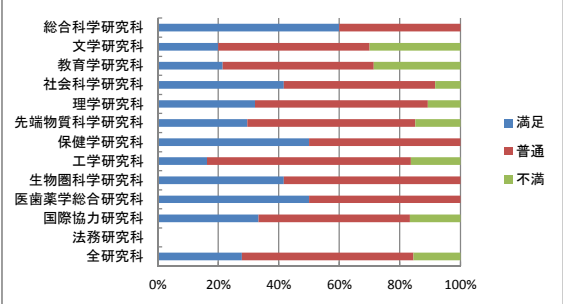
○学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の窓口や学生サービス担当に対する満足度  
平成21年度



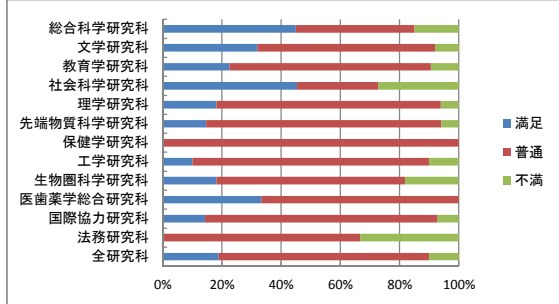
平成22年度



↓「利用したことがない」を除いた結果(平成21年度)

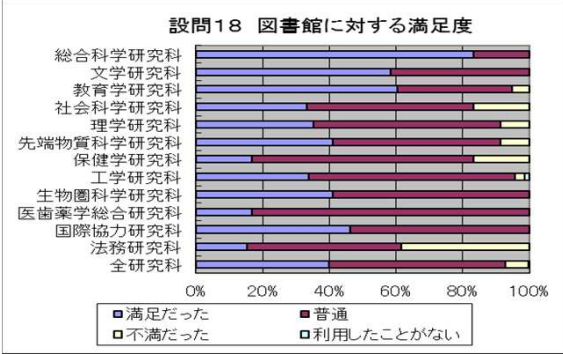


↓「利用したことがない」を除いた結果(平成22年度)

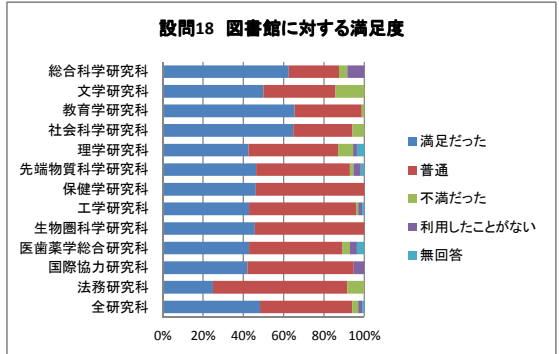


- ・全研究科について、学生プラザ3階(又は旧法人本部2階)の学生支援部門の満足度は増加。
- ・学生支援部門の満足度が増加したのは生物園科学研究科、医歯薬学総合研究科。
- ・学生支援部門の満足度が減少したのは保健学研究科。
- ・学生支援部門の利用率が増加したのは国際協力研究科、法務研究科。
- ・学生支援部門の利用率が減少したのは医歯薬学総合研究科。

○図書館に対する満足度  
平成21年度

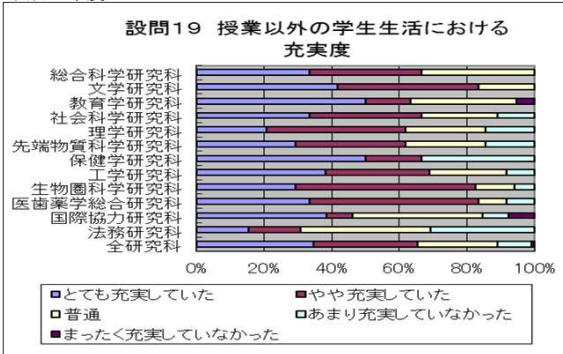


平成22年度

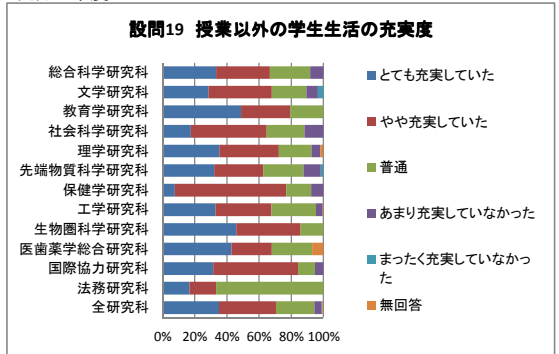


- ・全研究科について、図書館の満足度は増加。
- ・図書館の満足度が増加したのは社会科学研究科、保健学研究科、医歯薬学総合研究科。
- ・図書館の満足度が減少したのは総合科学研究科。

○授業以外の学生生活における充実度  
平成21年度

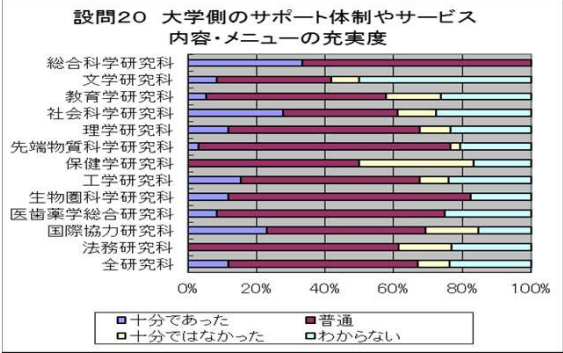


平成22年度

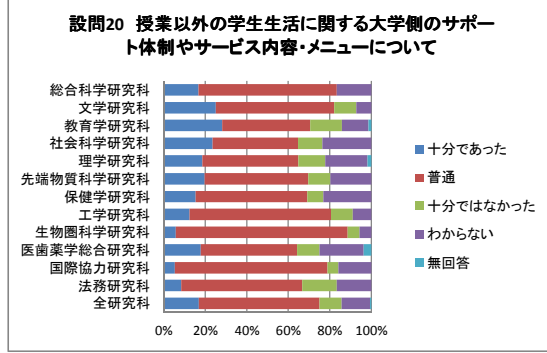


- ・全研究科について、授業以外の学生生活における充実度は平成21年度と変わらない。
- ・学生生活の充実度が増加したのは国際協力研究科。
- ・学生生活の充実度が減少したのは文学研究科、医歯薬学総合研究科。

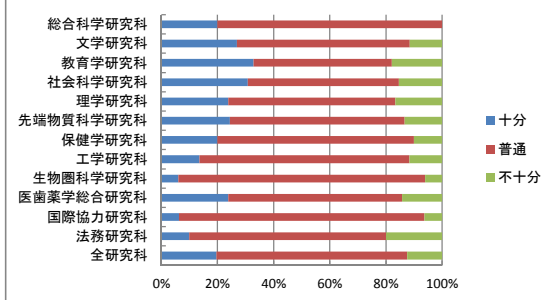
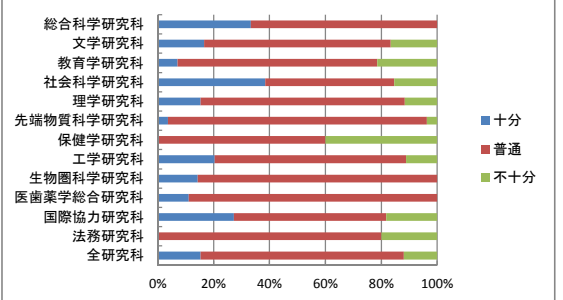
○授業以外の学生生活に関する大学側のサポート体制やサービス内容・メニューについて  
平成21年度



平成22年度



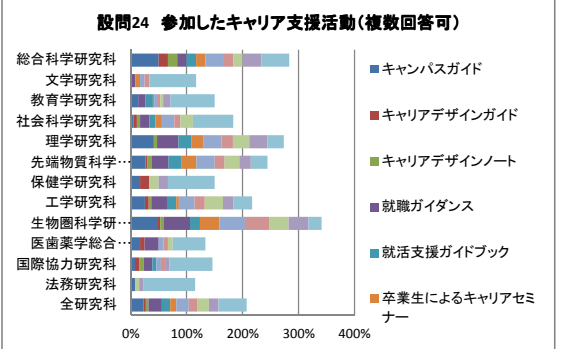
↓「わからない」を除いた結果(平成21年度)



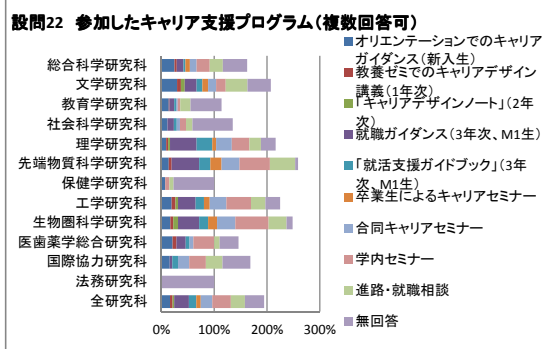
- ・全研究科について、大学側のサポートやサービスの満足度は平成21年度と変わらない。
- ・サポートやサービスの満足度が増加したのは教育学研究科、先端物質科学研究科、保健学研究科。
- ・サポートやサービスの満足度が減少したのは国際協力研究科。

○参加したキャリア支援プログラム

平成21年度

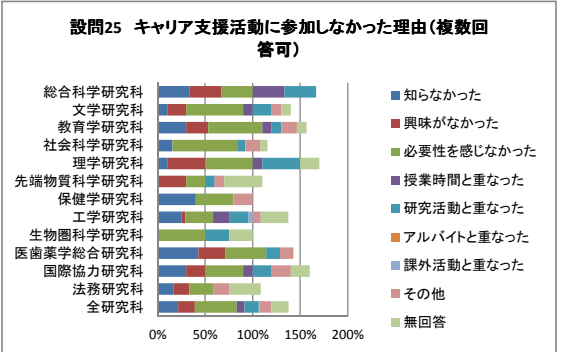


平成22年度

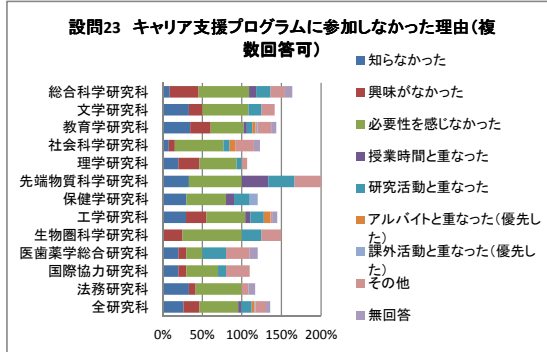


○キャリア支援プログラムに参加しなかった理由

平成21年度

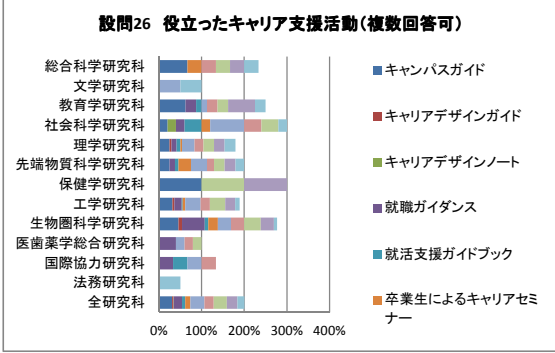


平成22年度

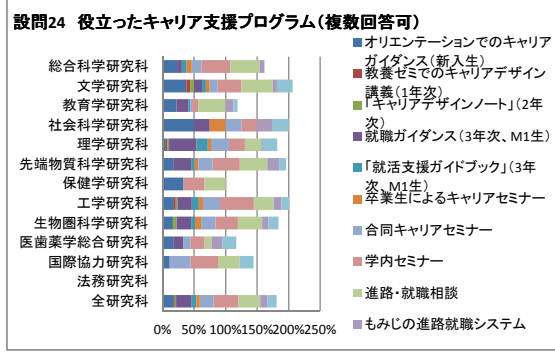




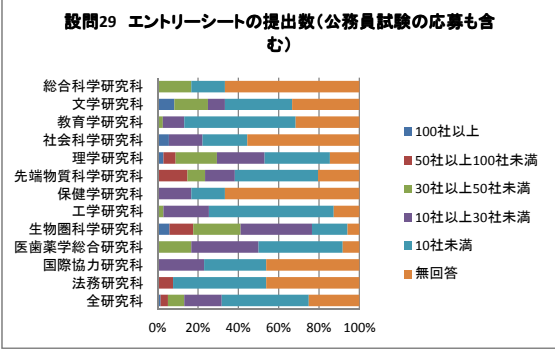
**○役立つキャリア支援プログラム**  
平成21年度



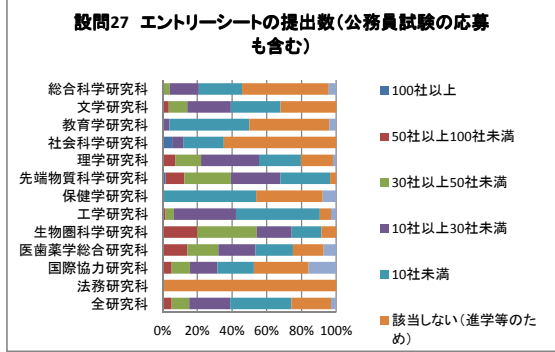
平成22年度



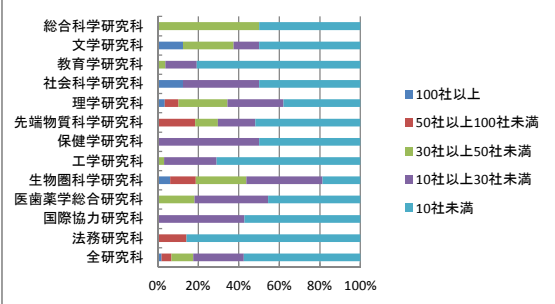
**○エントリーシートの提出数(公務員試験の応募も含む)**  
平成21年度



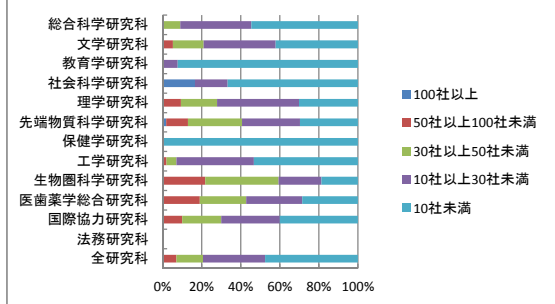
平成22年度



↓無回答を除いた結果(平成21年度)



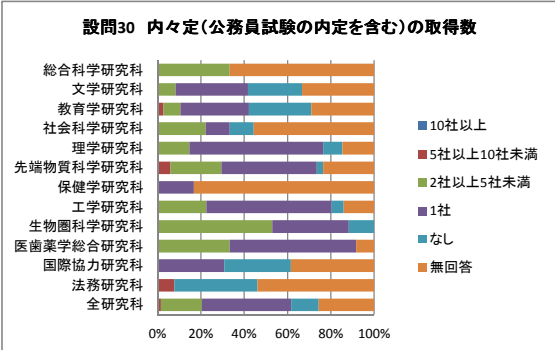
↓無回答を除いた結果(平成22年度)



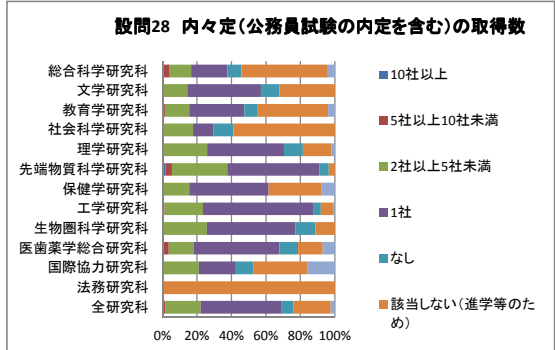
- ・全研究科について、エントリーシートの提出数は平成21年度と変わらない。
- ・エントリーシートの平均提出数が増加したのは医歯薬学総合研究科、国際協力研究科。
- ・エントリーシートの平均提出数が減少したのは総合科学研究科、文学研究科。

研究科名	平均提出数	
	H21年度	H22年度
総合科学研究科	22.5	13.6
文学研究科	27.5	19.7
教育学研究科	8.7	6.2
社会科学研究科	22.5	23.3
理学研究科	25.7	24.3
先端物質科学研究科	24.6	28.7
保健学研究科	12.5	5.0
工学研究科	10.0	14.3
生物圏科学研究科	34.1	36.7
医歯薬学総合研究科	16.8	31.0
国際協力研究科	11.4	23.5
法務研究科	15.0	—
全研究科	17.8	19.7

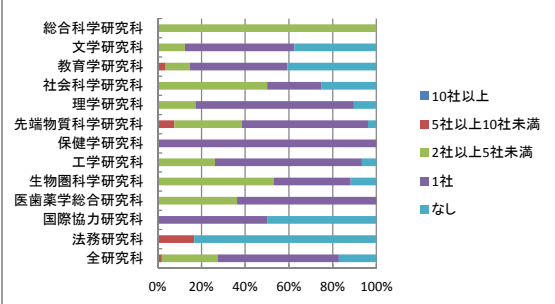
**○内々定(公務員試験の内定を含む)の取得数**  
平成21年度



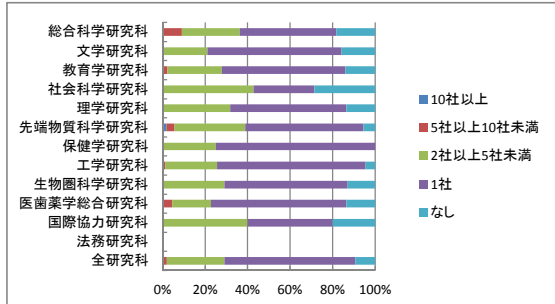
平成22年度



↓無回答を除いた結果(平成21年度)



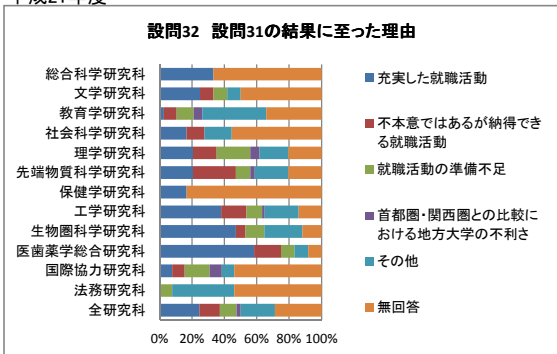
↓無回答を除いた結果(平成22年度)



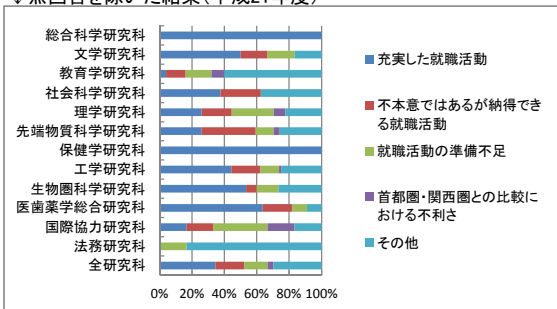
- ・全研究科について、内々定の取得数は平成21年度と変わらない。
- ・平均取得数が増加したのは国際協力研究科。
- ・平均取得数が減少したのは総合科学研究科。

研究科名	平均取得数	
	H21年度	H22年度
総合科学研究科	3.5	2.1
文学研究科	0.9	1.4
教育学研究科	1.1	1.7
社会科学研究科	2.0	1.8
理学研究科	1.3	1.7
先端物質科学研究科	2.2	2.2
保健学研究科	1.0	1.6
工学研究科	1.6	1.7
生物圏科学研究科	2.2	1.6
医歯薬学総合研究科	1.9	1.6
国際協力研究科	0.5	1.8
法務研究科	1.3	—
全研究科	1.6	1.7

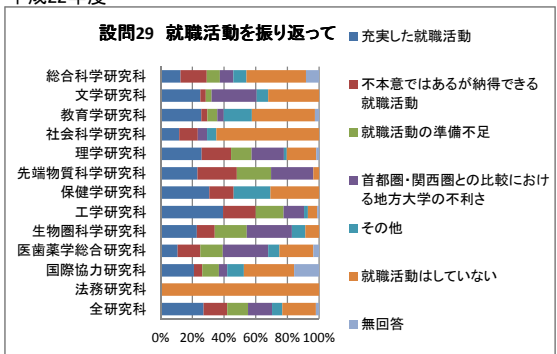
○就職活動を振り返って  
平成21年度



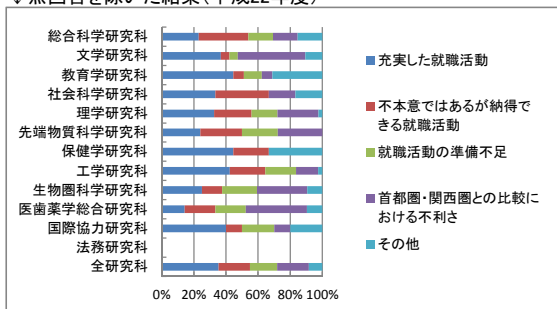
↓無回答を除いた結果(平成21年度)



平成22年度



↓無回答を除いた結果(平成22年度)



- ・全研究科について、就職活動を前向きに振り返っている割合は平成21年度と変わらないが、就職活動に不満を抱いている割合は増加。
- ・就職活動に不満を抱いている割合が増加しているのは総合科学研究科、文学研究科、先端物質科学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科。
- ・就職活動に不満を抱いている割合が減少しているのは国際協力研究科。

## 5. 実施要綱

### 平成 22 年度「卒業・修了予定者によるフィードバック調査」実施要綱

#### 1. 実施目的

本学は、平成 18 年度から学士課程教育に HiPROSPECTS®を導入しているが、昨年度の調査において「到達評価を活用しなかった」と回答した学生が半数を超える結果となった。認知度の低さを改めて実感した今年度は、認知度を上げるための様々な取り組みを行ってきた。同様に、大学院においては、講座化した大学院課程教育の継続的な見直しに活用している。このように、本調査結果は大学の取り組みにおける成果などの把握・分析に役立っている。調査 2 年目となる今年度は、昨年度の調査結果との比較によりさらなる分析が期待でき、より多くの分野・部署における重要な基礎的資料となると考える。そのためには、少しでも多くの対象者の意見を集約することが重要となる。

この調査は、教育及び学生支援を実際に受けた学生からの意見を集約するために、卒業又は修了を間近に控える学生を対象として実施するものである。教育及び学生支援についての学生の意見を総合的に集約・分析することにより、各教育組織と各学生支援担当教職員の認識を高め、教育及び学生支援の充実・改善に資することを目的とするものである。

#### 2. 調査の実施主体

教育室教育企画グループが実施する。

#### 3. 調査の実施方法

「学生情報の森 もみじ」のアンケート機能を使用して実施する。

#### 4. 調査の実施対象

- (1) 学士課程教育
- (2) 大学院課程教育
- (3) 学生生活
- (4) 就職活動

以上の 4 つの領域に関する総合的な内容とする。

#### 5. 調査の実施時期

学生のアンケート回答期間は、平成 23 年 2 月 1 日（火）～3 月 23 日（水）とする。

#### 6. 調査項目

調査項目は、各所掌の部署（学生生活会議／学生生活支援グループ、キャリアセンター会議／キャリア支援グループ、教養教育委員会／教養教育支援グループ、学士課程会議、大学院課程会議／教育企画グループ）が提案し、教育企画グループが調整し、策定したものを基本とする。

## 7. 調査の対象学生

平成 22 年度卒業見込みの学生及び修了見込みの学生を対象とする。

## 8. 調査結果の集計・公表等

- (1) 集計結果は各所掌の部署へフィードバックし、今後の教育及び学生支援に向けた改善を促す。
- (2) 調査結果は、広島大学の HP において大学内外に向けて公表を行う。

## 9. その他

- (1) 調査は、「1. 実施目的」に記載した目的以外には利用しない。
- (2) 「学生情報の森 もみじ」から調査対象の学生に向けて、調査に回答するようアナウンスを行う。
- (3) この要綱に定めるもののほか、調査実施について必要な事項は、教育室が別に定める。

## 6. アンケート項目

### 平成 22 年度 卒業・修了予定者によるフィードバック調査

学部生用 (設問数 31)	大学院生用 (設問数 30)
<p>① 履修した主専攻プログラム名を選択してください。平成 17 年度以前の入学生は、学科名もしくはコース名を選択してください。 ※回答選択肢は別紙を参照のこと</p> <p>② 性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性</p> <p>③ あなたの母国語を選んでください。 1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国語 4. 英語 5. その他</p> <p>④ あなたが入学した時の入試方法を選んでください。 1. 一般 (前期日程) 2. 一般 (後期日程) 3. AO 4. 推薦 5. その他</p>	<p>① 履修した専攻を選択してください。 ※回答選択肢は別紙を参照のこと</p> <p>② 性別を選んでください。 1. 男性 2. 女性</p> <p>③ あなたの母国語を選んでください。 1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国語 4. 英語 5. その他</p>
<p>---教育に関して---</p> <p>⑤ あなたが履修した教養教育の内容に満足しましたか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑥ 教育プログラムの「到達度評価」をどのように活用しましたか。(平成 17 年度以前の入学生は回答不要です。)(複数選択可) 1. プログラムの到達目標への指標として意識して授業を履修した 2. チューターや指導教員からの学習指導等を受ける際、自分の学習成果をふりかえる指標とした 3. 自身が身につけた力を他者に向かって具体的に説明する指標とした 4. 上記 1～3 以外の活用をした 5. 活用しなかった 6. 「到達度評価」の存在を知らなかった</p>	<p>---教育に関して---</p> <p>④ あなたが修学した大学院教育の内容に満足しましたか。 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p> <p>⑤ 大学院教育で身につけた専門性は、修了後の進路で役立つと思いますか。 1. 強くそう思う 2. そう思う 3. そう思わない 4. まったくそう思わない</p>

<p>⑦ チューターによる履修指導は適切に行われたと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強くそう思う</li> <li>2. そう思う</li> <li>3. そう思わない</li> <li>4. まったくそう思わない</li> </ol> <p>⑧ 履修した専門教育科目の内容に満足しましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. とても満足している</li> <li>2. 満足している</li> <li>3. あまり満足していない</li> <li>4. 満足していない</li> </ol> <p>⑨ 研究室への配属は希望どおりでしたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 希望通りだった</li> <li>2. 希望通りではなかった</li> <li>3. あてはまらない (研究室への配属はない)</li> </ol> <p>⑩ 卒業研究は、あなたにとって有意義であったと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強くそう思う</li> <li>2. そう思う</li> <li>3. そう思わない</li> <li>4. まったくそう思わない</li> <li>5. あてはまらない (卒業研究は実施していない)</li> </ol> <p>⑪ あなたが広島大学で受けた教育 (ガイダンス, 学習相談, 学習環境等) について, 改善すべき点があれば記述してください。 自由記述 (全角 1000 文字以内)</p>	<p>⑥ 指導教員による指導は適切に行われたと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強くそう思う</li> <li>2. そう思う</li> <li>3. そう思わない</li> <li>4. まったくそう思わない</li> </ol> <p>⑦ 大学院教育でプレゼンテーション能力, コミュニケーション能力が身についたと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強くそう思う</li> <li>2. そう思う</li> <li>3. そう思わない</li> <li>4. まったくそう思わない</li> </ol> <p>⑧ 大学院教育で英語力 (留学生は日本語力) が身についたと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強くそう思う</li> <li>2. そう思う</li> <li>3. そう思わない</li> <li>4. まったくそう思わない</li> </ol> <p>⑨ 大学院在学中に行った研究活動に満足していますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. とても満足している</li> <li>2. 満足している</li> <li>3. あまり満足していない</li> <li>4. 満足していない</li> </ol> <p>⑩ あなたが広島大学で受けた「大学院教育」(ガイダンス, 教育課程, 学習相談, 学習環境等) について改善すべき点があれば記述してください。 自由記述 (全角 1000 文字以内)</p>
---	---

以下, 学部生・大学院生共通設問 (学部生用の設問番号は⑫からとなります。)

<p>---学生生活に関して---</p> <p>⑪ 在学中にあなたが参加した課外活動はどれですか。(複数選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学内のクラブやサークル活動</li> <li>2. ボランティア活動や地域の活動</li> <li>3. いずれにも参加していない</li> </ol> <p>⑫ 大学祭, ゆかた祭り, フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことはありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 主催者側 (模擬店出店, ステージ発表等) や選手という形で積極的にこれらのイベントに関わったことがある</li> <li>2. 見物や応援という形でこれらのイベントに関わったことがある</li> <li>3. いずれの形でも参加したことがない</li> </ol> <p>⑬ 健康面や心理面で悩みが生じた場合によく相談したのは誰ですか。(複数選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健管理センターやハラスメント相談室など, 学内相談対応組織の教職員</li> <li>2. 所属学部・研究科の教職員</li> <li>3. 先輩や友人</li> <li>4. 家族</li> </ol>
--

5. 医療機関
6. 誰にも相談しなかった
7. その他

⑭ 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備について、満足度を教えてください。

1. 満足だった
2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑮ 課外活動施設（グラウンドや体育館，テニスコート等）の施設や設備について、満足度を教えてください。

1. 満足だった
2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑯ 所属学部・研究科の学生支援室の窓口や学生サービス担当について、満足度を教えてください。

1. 満足だった
2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑰ 学生プラザ3階（又は 旧 法人本部2階）の学生支援部門の窓口や学生サービス担当について、満足度を教えてください。

1. 満足だった
2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑱ 図書館について、満足度を教えてください。

1. 満足だった
2. 普通
3. 不満だった
4. 利用したことがない

⑲ 授業以外の学生生活を充実して過ごすことができましたか。

1. とても充実していた
2. やや充実していた
3. 普通
4. あまり充実していなかった
5. まったく充実していなかった

⑳ 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート体制やサービス内容・メニューは十分なものでしたか。

1. 十分であった
2. 普通
3. 十分ではなかった
4. わからない

㉑ 学生生活を振り返って、学生生活支援や施設等に対する意見や希望がありましたら、自由に記述してください。（全角 1000 文字以内）

---進路・職業選択及び就職活動に関して---

**22** 下記のキャリア支援プログラムで参加又は利用したものはどれですか。(複数選択可)

1. 新入生に対するオリエンテーションでのキャリアガイダンス
2. 1年次生に対する教養ゼミでのキャリアデザイン講義
3. 2年次生に対する「キャリアデザインノート」
4. 3年次生 (M1生を含む) に対する就職ガイダンス
5. 3年次生 (M1生を含む) に対する「就活支援ガイドブック」
6. 卒業生によるキャリアセミナー
7. 合同キャリアセミナー
8. 学内セミナー
9. 進路・就職相談

**23** 設問22で無回答の方に聞きます。参加しなかった (できなかった) 理由は何ですか。(複数選択可)

1. 知らなかった
2. 興味がなかった
3. 必要性を感じなかった
4. 授業時間と重なった
5. 研究活動と重なった
6. アルバイトと重なった (優先した)
7. 課外活動と重なった (優先した)
8. その他

**24** 設問22に回答した方に聞きます。下記のキャリア支援プログラムで、キャリア形成や就職活動に役立ったものは何ですか。(複数選択可)

1. 新入生に対するオリエンテーションでのキャリアガイダンス
2. 1年次生に対する教養ゼミでのキャリアデザイン講義
3. 2年次生に対する「キャリアデザインノート」
4. 3年次生 (M1生を含む) に対する就職ガイダンス
5. 3年次生 (M1生を含む) に対する「就活支援ガイドブック」
6. 卒業生によるキャリアセミナー
7. 合同キャリアセミナー
8. 学内セミナー
9. 進路・就職相談
10. もみじの進路就職システム (求人検索・卒業生検索・就職活動コメントなど)

**25** あなたは大学入学後に次のインターンシップに参加したことがありますか。(複数選択可)

1. キャリアセンターが運営するインターンシップ
2. 各学部・研究科等が運営するインターンシップ
3. 各種団体・企業等が実施するインターンシップ
4. その他
5. 参加したことはない

**26** インターンシップに参加したのは何年次のときですか。(複数選択可)

1. 1年次生
2. 2年次生
3. 3年次生
4. 4年次生
5. M1年次生
6. M2年次生

**27** 就職活動において、何社にエントリーシートを提出 (公務員試験の応募も含む) しましたか。

1. 100社以上
2. 50社以上 100社未満
3. 30社以上 50社未満
4. 10社以上 30社未満
5. 10社未満
6. 該当しない (進学等のため)



**28** 何社（公務員試験の内定も含む）から内々定をもらいましたか。

1. 10社以上
2. 5社以上10社未満
3. 2社以上5社未満
4. 1社
5. なし
6. 該当しない（進学等のため）

**29** 就職活動を振り返って、どのように感じましたか。（複数選択可）

1. 充実した就職活動
2. 不本意ではあるが納得できる就職活動
3. 就職活動の準備不足
4. 首都圏・関西圏との比較における地方大学の不利さ
5. その他
6. 就職活動はしていない

**30** あなたの進路・就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等がありましたら、自由に記述してください。（全角1000文字以内）